



政府統計

令和3年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（速報）

令和4年2月

内閣府

目次

調査概要	2
ポイント1 青少年のインターネットの利用状況 - 1 (インターネット利用率)	4
ポイント2 低年齢層の子供のインターネットの利用状況 - 1 (インターネット利用率)	6
ポイント3 年齢別のインターネットの利用状況 - 1 (インターネット利用率)	7
ポイント4 青少年のインターネットの利用状況 - 2 (機器の専用・共用)	8
ポイント5 低年齢層の子供のインターネットの利用状況 - 2 (機器の専用・共用)	9
ポイント6 年齢別のインターネットの利用状況 - 2 (機器の専用・共用)	10
ポイント7 青少年のインターネットの利用状況 - 3 (利用内容)	11
ポイント8 低年齢層の子供のインターネットの利用状況 - 3 (利用内容)	12
ポイント9 年齢別のインターネットの利用状況 - 3 (利用内容)	13
ポイント10 青少年のインターネットの利用状況 - 4 (利用時間)	14
ポイント11 低年齢層の子供のインターネットの利用状況 - 4 (利用時間)	15
ポイント12 年齢別のインターネットの利用状況 - 4 (利用時間)	16
ポイント13 インターネット利用に関する家庭のルールの有無	17
ポイント14 子供のインターネット利用に関する保護者の取組 - 1 (青少年の保護者)	18
ポイント15 子供のインターネット利用に関する保護者の取組 - 2 (低年齢層の子供の保護者)	20
ポイント16 インターネットに関する啓発や学習の経験 - 1 (青少年)	21
ポイント17 インターネットに関する啓発や学習の経験 - 2 (低年齢層の子供)	22
ポイント18 インターネットに関する啓発や学習の経験 - 3 (保護者)	23
ポイント19 フィルタリングの認知 (保護者)	24

調査概要（1）

1. 調査目的

平成21年度～令和2年度に引き続き、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」（いわゆる「青少年インターネット環境整備法」。平成21年4月1日施行。）の施行状況のフォローアップのための基礎データを得ることを目的として実施。

2. 調査設計

(1)調査方法・対象：下記3種の調査につき、それぞれの対象者に対し、それぞれの調査票を用いて調査を行い、回収結果は以下のとおりであった。

	①青少年調査	②保護者調査	③低年齢層調査
調査対象	満10歳から満17歳の青少年(5,000人)	左記青少年と同居する保護者(5,000人)	0歳から満9歳の子供と同居する保護者(3,000人)
調査方法	以下の優先順位とする。 ①調査員が調査票を用いて、調査対象者に質問を行い、聞き取った内容を調査票に記録する個別面接聴取法によって調査票を回収することを原則とする。②調査員が調査対象者に調査票を配布し、調査対象者が記入した調査票を回収する訪問配布訪問回収法によって調査票を回収する。③調査員が調査対象者に調査票を配布し、調査対象者がオンラインにより回答する。調査対象者の要望若しくは事情等がある場合又は災害等に起因し、①②③が困難な場合は、調査対象者の負担軽減を図るため回収のみ郵送とすることも可能とする。	以下の優先順位とする。 ①調査員が調査対象者に調査票を配布し、調査対象者が記入した調査票を回収する訪問配布訪問回収法によって調査票を回収することを原則とする。②調査員が調査対象者に調査票を配布し、調査対象者がオンラインにより回答する。調査対象者の要望若しくは事情等がある場合又は災害等に起因し、①②が困難な場合は、調査対象者の負担軽減を図るため回収のみ郵送とすることも可能とする。	
回収結果	3,395人 (67.9%) ・個別面接聴取法 2,384人 (47.7%) ・訪問配布訪問回収法 696人 (13.9%) ・WEB調査法 161人 (3.2%) ・郵送回収法 154人 (3.1%)	3,511人 (70.2%) ・訪問配布訪問回収法 3,242人 (64.8%) ・WEB調査法 136人 (2.7%) ・郵送回収法 133人 (2.7%)	2,294人 (76.5%) ・訪問配布訪問回収法 2,156人 (71.9%) ・WEB調査法 53人 (1.8%) ・郵送回収法 85人 (2.8%)

(2)調査内容：各調査の対象者に対し、下記7機器によるインターネット利用状況等について調査。
スマートフォン、契約していないスマートフォン、携帯電話、自宅用のパソコンやタブレット等、
学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等（GIGA端末）、ゲーム機、テレビ（地上波・BS等のテレビ視聴時間は含まない）。

(3)期 間：令和3年11月3日（水）～12月14日（火）

調査概要（2）

3. 企画分析会議

有識者(※五十音順)	生 田 倫 子 (神奈川県立保健福祉大学 准教授)
	尾 花 紀 子 (ネット教育アナリスト)
	竹 内 和 雄 (兵庫県立大学 准教授)
	西 田 光 昭 (柏市教育委員会 教育研究専門アドバイザー)

4. 備考

(用語の定義)

- ・ 満10歳から満17歳を「青少年」、その保護者を「青少年の保護者」、0歳から満9歳を「低年齢層の子供」、その保護者を「低年齢層の子供の保護者」と表記する。「保護者」と表記する場合には0歳から満17歳までの子供の保護者を指す。
- ・ 元号表記は全て「年度」を指す。
- ・ 統計表等に用いた符号のうち、「-」は回答者がいないものを指す。(表章単位に満たないが回答者がいる場合は「0.0」とする。)

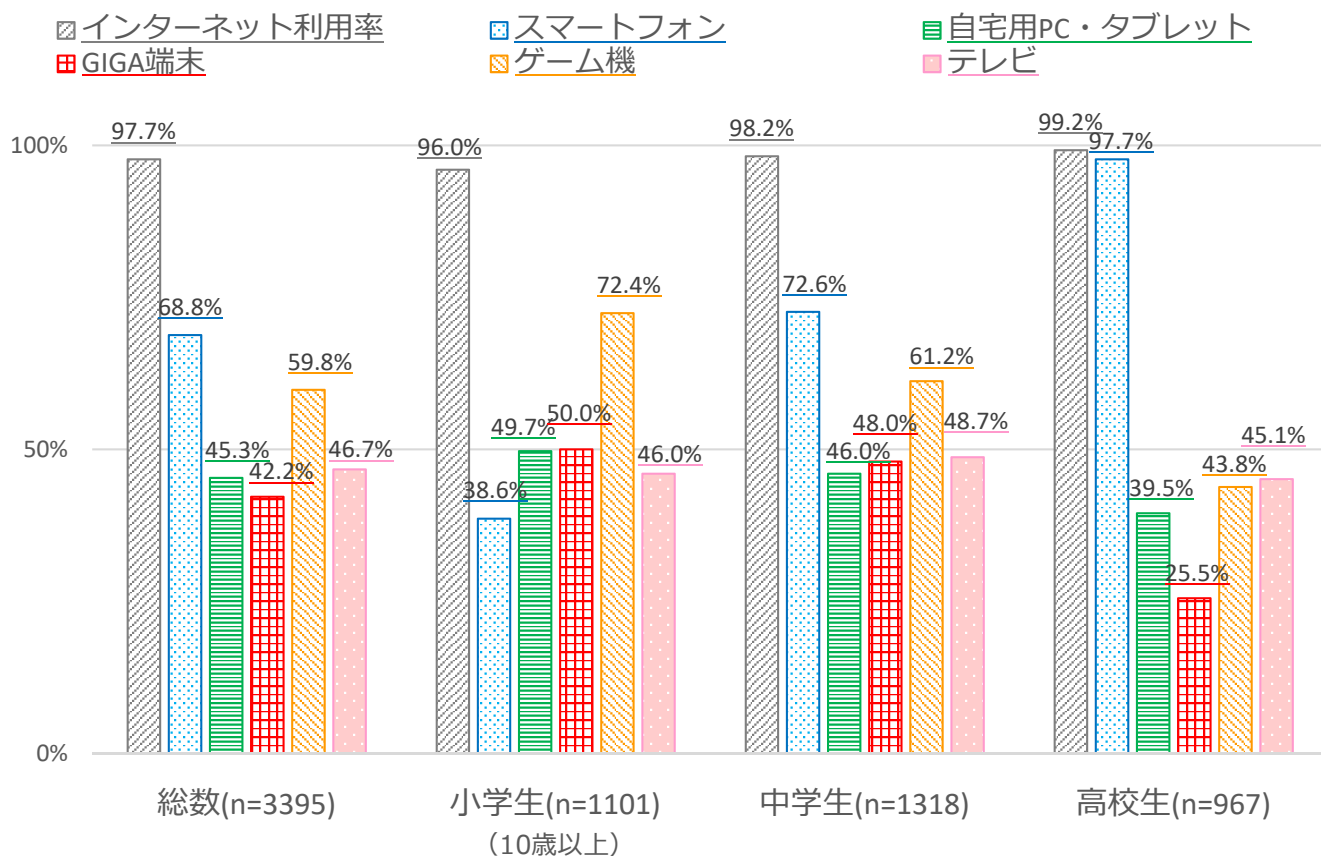
(本資料を読む際の注意点)

- ・ 調査結果は、四捨五入しているため、内訳の合計値が計に一致しない場合がある。
- ・ 本調査では在学中ではない人も含むため、青少年調査では「小学生」、「中学生」、「高校生」の合計値が「総数」に一致しない。また、保護者調査では「小学生の保護者」、「中学生の保護者」、「高校生の保護者」の合計値が「総数」に一致しない。低年齢調査では学校種別無回答を含むため、「通園・通学前」、「通園中」、「小学生(6歳～9歳)」の合計値が「総数」に一致しない。
- ・ 分析軸の該当者が50人未満のクロス集計については、標本誤差が大きくなるため、あくまで参考にとどめるなど、特に留意が必要。
- ・ 青少年調査の結果は、「調査員による個別面接聴取法」、「調査員による訪問配布訪問回収法」、「WEB調査法」及び「郵送回収法」を合算し、保護者調査及び低年齢層調査の結果は、「調査員による訪問配布訪問回収法」、「WEB調査法」及び「郵送回収法」を合算したもの。なお、前記回答方法の相違により調査結果への影響が発生した可能性がある事項については、回答方法ごとの内訳を、別途内閣府ホームページに公表。

ポイント1 青少年のインターネットの利用状況 - 1 (インターネット利用率)

- 青少年の97.7%が、インターネットを利用していると回答。
- インターネットを利用する機器は、スマートフォン (68.8%)、ゲーム機 (59.8%)、テレビ (地上波・BS等は含まない) (46.7%)、自宅用のパソコンやタブレット等 (45.3%)、学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等 (GIGA端末) (42.2%) と続く。
- 学校種別でみると、高校生の99.2%、中学生の98.2%、小学生 (10歳以上) の96.0%がインターネットを利用していると回答。

インターネット利用率 (機器・学校種別)



○インターネットを利用している機器 (n=3395)

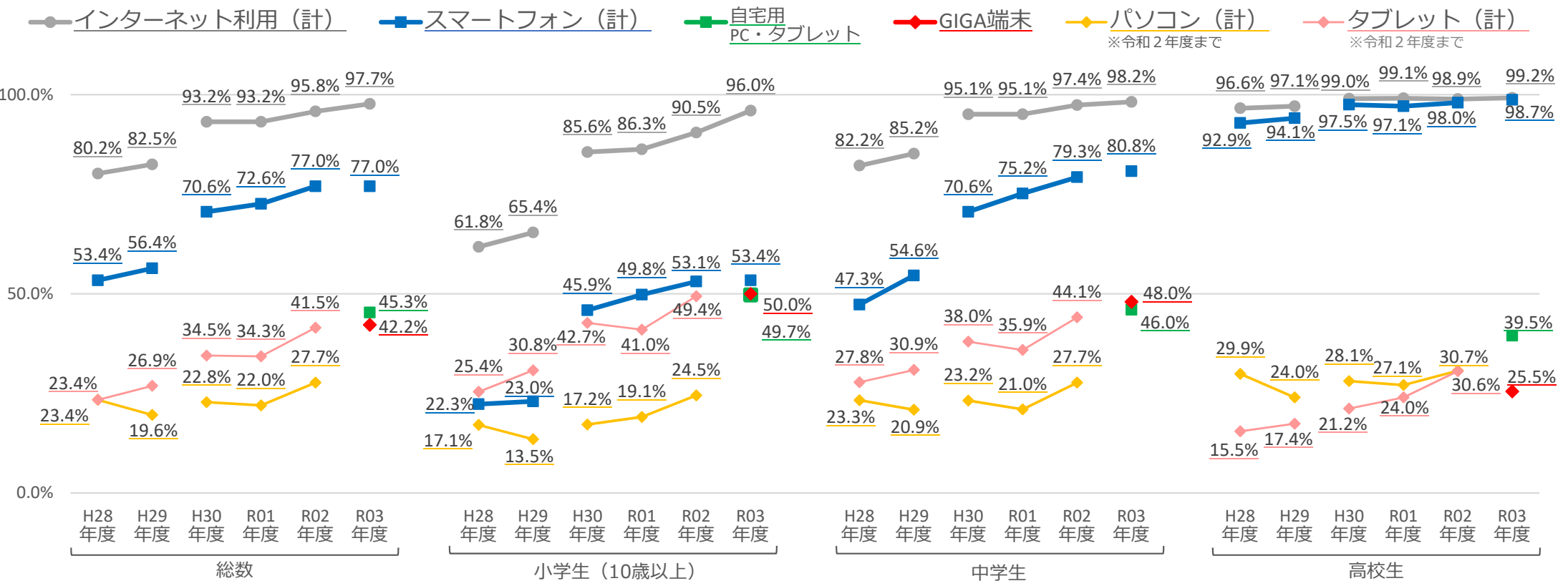
スマートフォン	68.8 %
契約していないスマートフォン	13.1 %
携帯電話	7.3 %
自宅用のパソコンやタブレット等	45.3 %
学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等(GIGA端末)	42.2 %
ゲーム機	59.8 %
テレビ (地上波、BS等は含まない)	46.7 %

(注1) 「インターネット利用率」及び「インターネットを利用している機器」は、回答した青少年全員をベースに集計。

(注2) 令和3年度調査から「インターネットを利用している機器」を変更。令和2年度までは、次の15機器。「スマートフォン、格安スマートフォン、子供向けスマートフォン、契約切れスマートフォン、携帯電話、子供向け携帯電話、ノートパソコン、デスクトップパソコン、タブレット、学習用タブレット、子供向け娯楽用タブレット、携帯音楽プレイヤー、携帯ゲーム機、据置型ゲーム機、インターネット接続テレビ」(令和3年度はテレビの例を一部変更修正)

参考資料 1 青少年のインターネット利用率の経年比較

青少年の機器ごとのインターネット利用状況（平成28年度から令和3年度）



(注1) 回答した青少年全員をベースに集計。回答数は以下のとおり。(下記の小学生は、10歳以上)

令和3年度 ：総数(n=3395) 小学生(n=1101) 中学生(n=1318) 高校生(n= 967)	令和2年度 ：総数(n=3605) 小学生(n=1100) 中学生(n=1407) 高校生(n=1083)
令和元年度 ：総数(n=3194) 小学生(n=1081) 中学生(n=1241) 高校生(n= 868)	平成30年度 ：総数(n=3079) 小学生(n= 990) 中学生(n=1175) 高校生(n= 903)
平成29年度 ：総数(n=3288) 小学生(n=1016) 中学生(n=1309) 高校生(n= 942)	平成28年度 ：総数(n=3284) 小学生(n=1012) 中学生(n=1279) 高校生(n= 987)

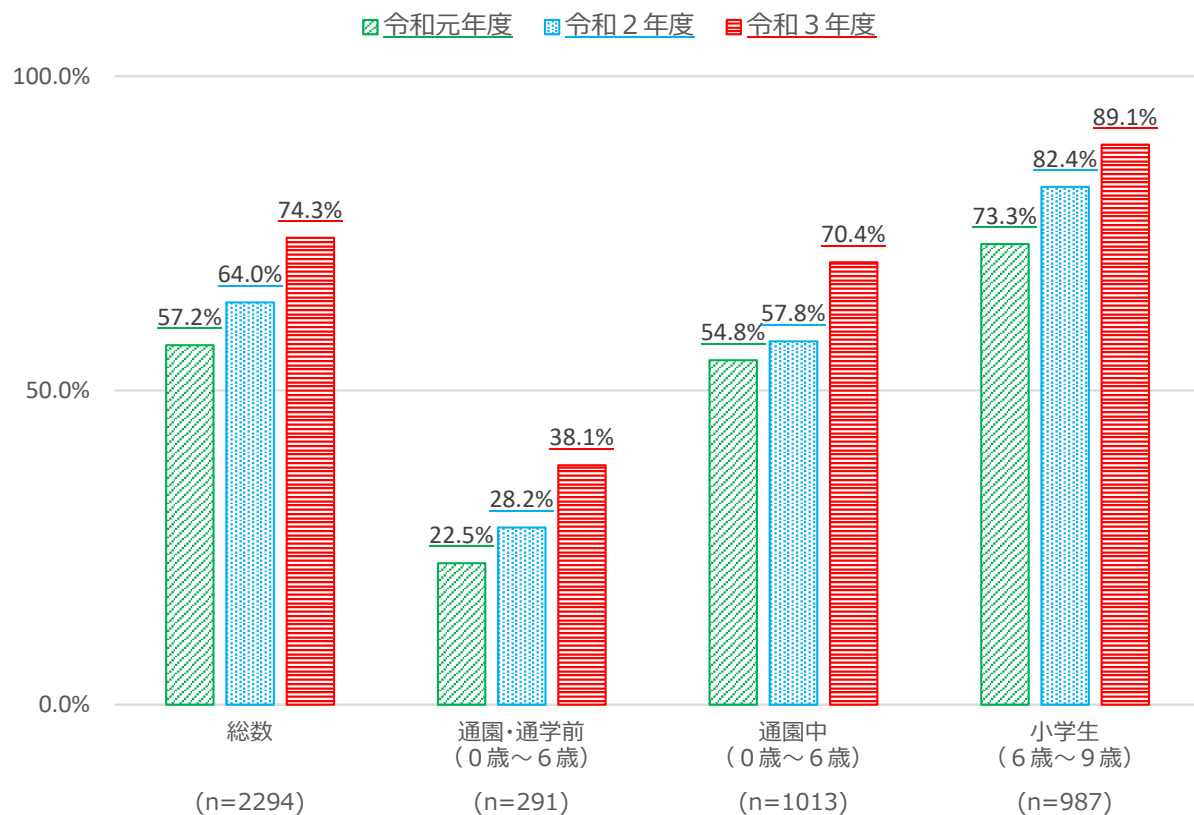
(注2) 「スマートフォン (計)」は、「スマートフォン」、「契約していないスマートフォン」のいずれかを利用すると回答した青少年。平成28年度から令和2年度までは、「スマートフォン (計)」は、「スマートフォン」、「格安スマートフォン」、「子供向けスマートフォン」、「契約切れスマートフォン (平成28年度から平成29年度までは、携帯電話の契約が切れたスマートフォン)」のいずれかを利用すると回答した青少年。「パソコン(計)」は、「ノートパソコン」、「デスクトップパソコン」のいずれかを利用すると回答した青少年。「タブレット(計)」は、「タブレット」、「学習用タブレット」、「子供向け娯楽用タブレット」のいずれかを利用すると回答した青少年。複数の機器を使用している場合もあるため(計)は、合計値が100%とならない。

(注3) インターネット利用率についての質問形式は、平成28年度から平成29年度までは「青少年に調査した15機器のうち、いずれかの機器でのインターネット利用の有無」を問う設問であり、平成30年度以降の「インターネット利用の有無」を問う設問と相違があるため、平成29年度までの調査結果とは直接比較できない。

ポイント2 低年齢層の子供のインターネットの利用状況 - 1 (インターネット利用率)

- 低年齢層の子供の74.3%がインターネットを利用。通園中（0歳～6歳）では70.4%、小学生（6歳～9歳）では89.1%がインターネットを利用。
- インターネットを利用する機器は、テレビ（地上波、BS等は含まない）（46.9%）、自宅用のパソコンやタブレット等（36.8%）、ゲーム機（32.0%）が上位。

インターネット利用率（通園・在学別）



○インターネットを利用している機器（n=2294）

スマートフォン	25.5 %
契約していないスマートフォン	19.2 %
携帯電話	5.3 %
自宅用のパソコンやタブレット等	36.8 %
学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等(GIGA端末)	(17.2 %)
■ 調査対象は小学生のみ (n=987)	■ 39.8 %
ゲーム機	32.0 %
テレビ（地上波、BS等は含まない）	46.9 %

(注1) 「低年齢層の子供のインターネット利用率」及び「インターネットを利用している機器」は、回答した低年齢層の子供の保護者全員をベースに集計。

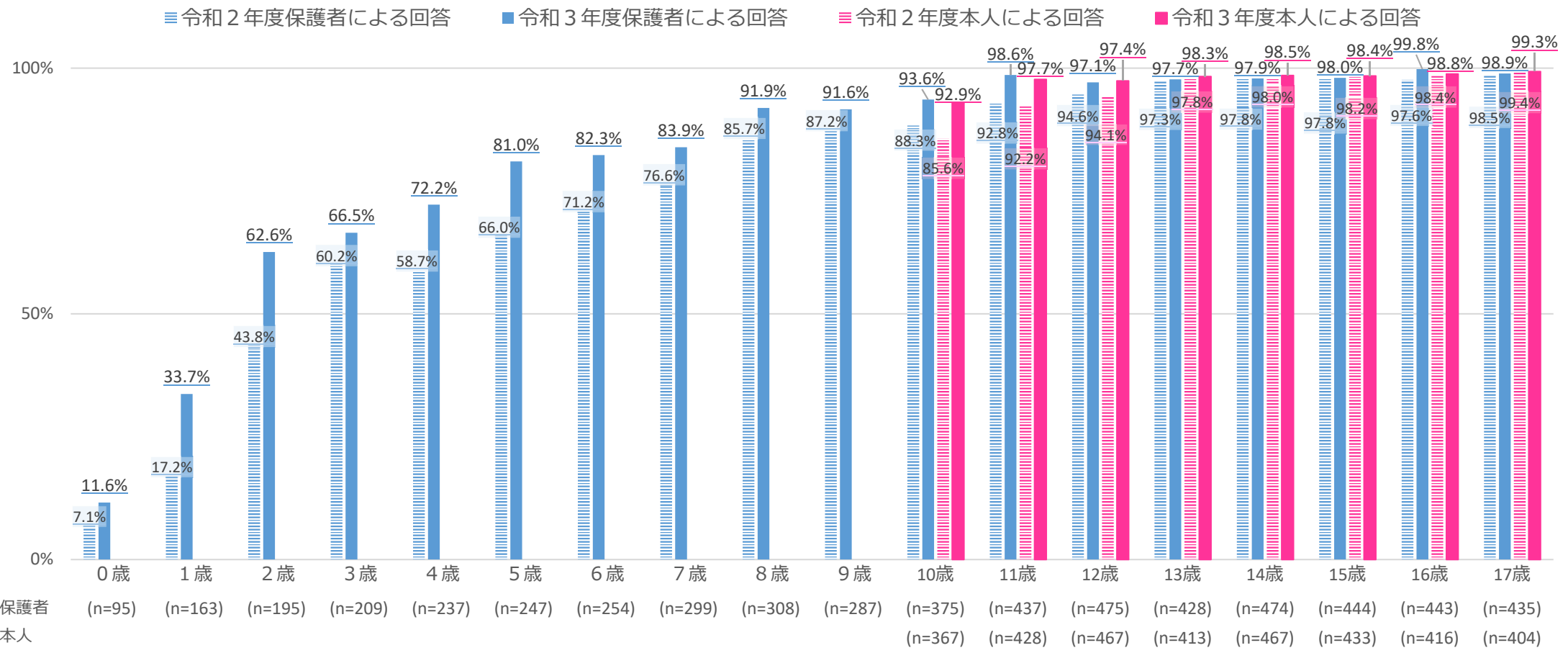
(注2) 「令和2年度」の回答数は以下のとおり。総数(n=2247) 通園・通学前(0歳～6歳)(n=301) 通園中(0歳～6歳)(n=1011) 小学生(6歳～9歳)(n=935)
「令和元年度」の回答数は以下のとおり。総数(n=2225) 通園・通学前(0歳～6歳)(n=351) 通園中(0歳～6歳)(n=974) 小学生(6歳～9歳)(n=900)

(注3) 令和3年度調査から「インターネットを利用している機器」を変更。令和2年度までは、次の15機器。「スマートフォン、格安スマートフォン、子供向けスマートフォン、契約切れスマートフォン、携帯電話、子供向け携帯電話、ノートパソコン、デスクトップパソコン、タブレット、学習用タブレット、子供向け娯楽用タブレット、携帯音楽プレイヤー、携帯ゲーム機、据置型ゲーム機、インターネット接続テレビ」

ポイント3 年齢別のインターネットの利用状況 - 1 (インターネット利用率)

- 年齢が上がるとともにインターネットの利用率も高くなる傾向。
- 乳幼児の増加が目立っており、1歳児が前年度と比べて16.5ポイント増加で33.7%、2歳児が前年度と比べて18.8ポイント増加で62.6%。
- 本人(10歳以上)による回答と保護者による回答では、認識に大きな差はない。

インターネット利用率 (年齢別・令和2年度から令和3年度)



(注1) 「インターネット利用率」は回答した青少年全員及び保護者全員、低年齢層の子供の保護者全員をベースに集計。
 (注2) 「令和2年度」の本人による回答数は以下のとおり。10歳(n=368)、11歳(n=448)、12歳(n=439)、13歳(n=448)、14歳(n=496)、15歳(n=489)、16歳(n=446)、17歳(n=471)。
 「令和2年度」の保護者による回答数は以下のとおり。0歳(n=84)、1歳(n=169)、2歳(n=185)、3歳(n=236)、4歳(n=235)、5歳(n=244)、6歳(n=243)、7歳(n=274)、8歳(n=272)、9歳(n=305)、10歳(n=376)、11歳(n=447)、12歳(n=444)、13歳(n=443)、14歳(n=502)、15歳(n=491)、16歳(n=450)、17歳(n=480)。
 (青少年 Q1-1、青少年の保護者 Q1-1、低年齢層の子供の保護者Q1-1)

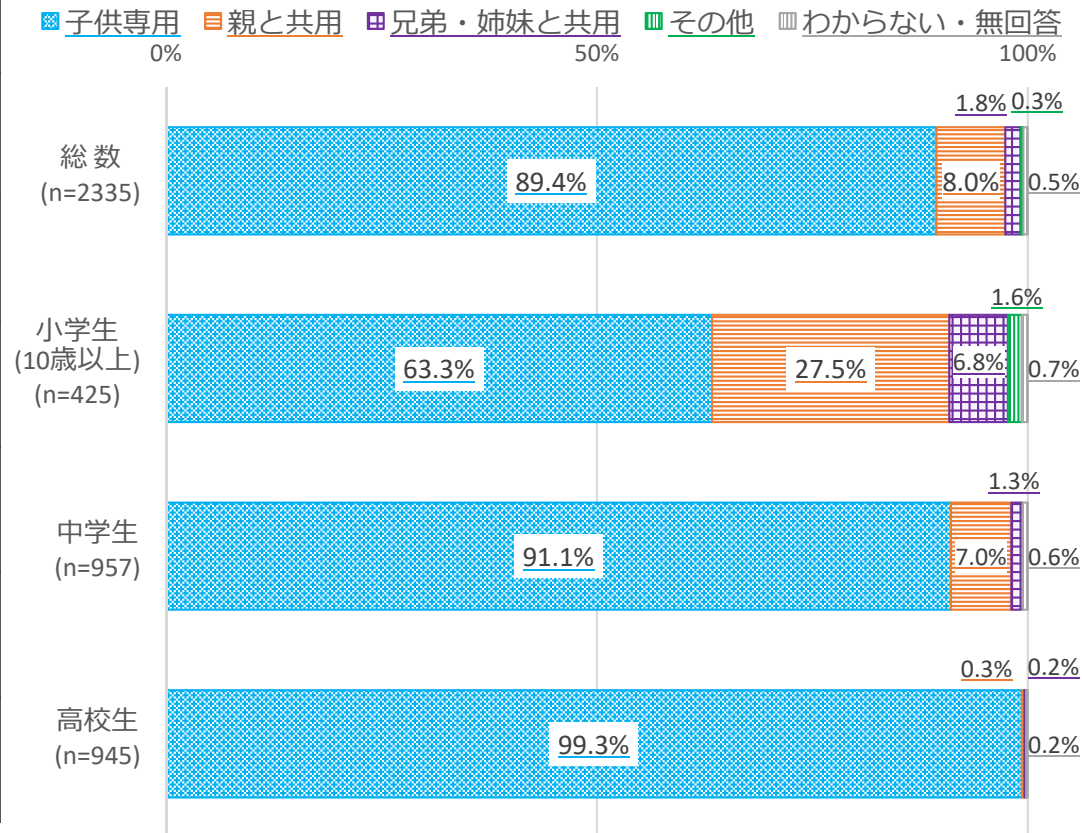
ポイント4 青少年のインターネットの利用状況 - 2 (機器の専用・共用)

- インターネットを利用すると回答した青少年のうち、子供専用の機器を利用している割合が高いのは、スマートフォン(89.4%)と携帯電話(73.9%)。
- スマートフォンでは、学校種が上がると子供専用の割合が高くなり、小学生(10歳以上)の63.3%、中学生の91.1%、高校生の99.3%が子供専用と回答。

○青少年の各機器の専用・共用 (令和3年度)

	子供専用	親と共用	兄弟・姉妹と共用	その他	わからない・無回答
スマートフォン (n=2335)	89.4%	8.0%	1.8%	0.3%	0.5%
契約していないスマートフォン (n= 444)	55.9%	21.4%	18.0%	2.3%	2.5%
携帯電話 (n= 249)	73.9%	6.0%	16.1%	0.4%	3.6%
自宅用のパソコンやタブレット等 (n=1538)	31.2%	52.5%	13.6%	1.7%	1.0%
ゲーム機 (n=2031)	51.1%	12.9%	34.0%	1.2%	0.8%
テレビ(地上波、BS等は含まない) (n=1587)	6.4%	73.7%	11.8%	7.0%	1.1%

青少年の機器の専用率 (学校種別・スマートフォン/令和3年度)



(注) インターネットを利用すると回答した青少年をベースに集計。

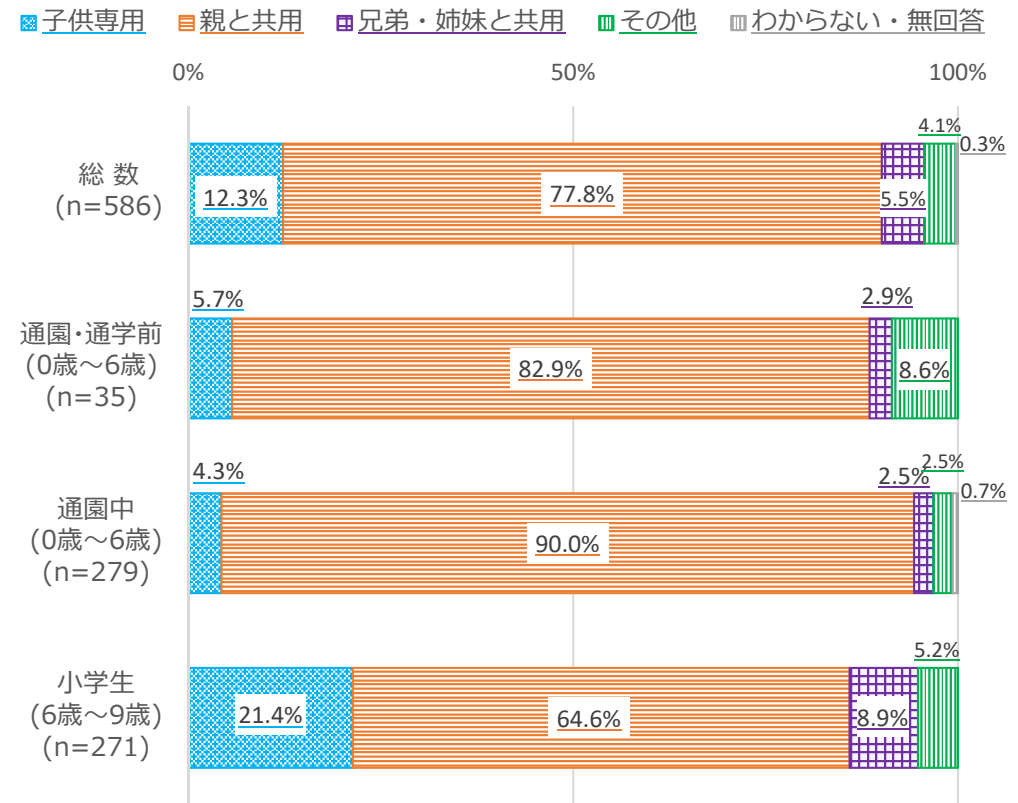
ポイント5 低年齢層の子供のインターネットの利用状況 - 2 (機器の専用・共用)

○ スマートフォンについては、77.8%が親と共用で利用している。小学生になると専用率が上昇する。

低年齢層の子供の各機器の専用・共用 (令和3年度)

	子供専用	親と共用	兄弟・姉妹と共用	その他	わからない・無回答
スマートフォン (n= 586)	12.3 %	77.8 %	5.5 %	4.1 %	0.3 %
契約していないスマートフォン (n= 440)	27.5 %	35.5 %	34.1 %	2.3 %	0.7 %
携帯電話 (n= 121)	66.9 %	8.3 %	18.2 %	2.5 %	4.1 %
自宅用のパソコンやタブレット等 (n= 845)	16.3 %	66.5 %	13.5 %	2.7 %	0.9 %
ゲーム機 (n= 733)	28.1 %	38.1 %	32.1 %	1.5 %	0.3 %
テレビ (地上波、BS等は含まない) (n=1076)	0.3 %	92.5 %	3.2 %	3.0 %	1.1 %

低年齢層の子供の機器の専用率 (通園・在学別・スマートフォン/令和3年度)

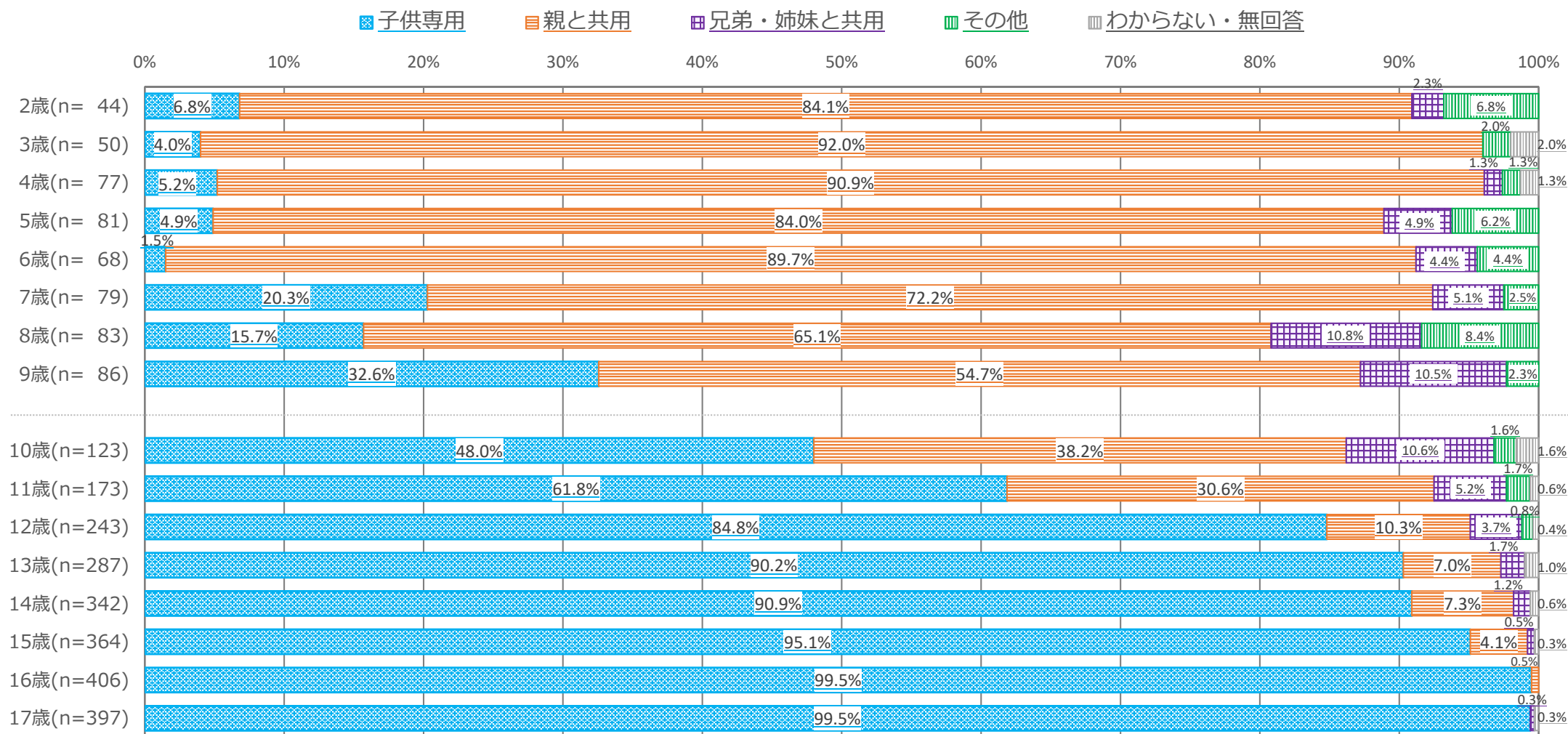


(注) 子供がインターネットを利用していると回答した低年齢層の子供の保護者をベースに集計。

ポイント6 年齢別のインターネットの利用状況 - 2 (機器の専用・共用)

○ 子供専用のものを使っている割合は、10歳から11歳にかけて13.8ポイント上昇し、専用と共用の割合が逆転。

機器の専用率 (年齢別・スマートフォン/令和3年度)



(注1) 「スマートフォン」でインターネットを利用していると回答した青少年及び低年齢層の子供の保護者をベースに集計。0歳 (n=2)、1歳 (n=16) は回答数が少ないため図示しない。

(注2) 青少年は本人に、低年齢層の子供は保護者に対して調査した結果であるため、直接比較することはできない。

(青少年 Q2、低年齢層の子供の保護者 Q2)

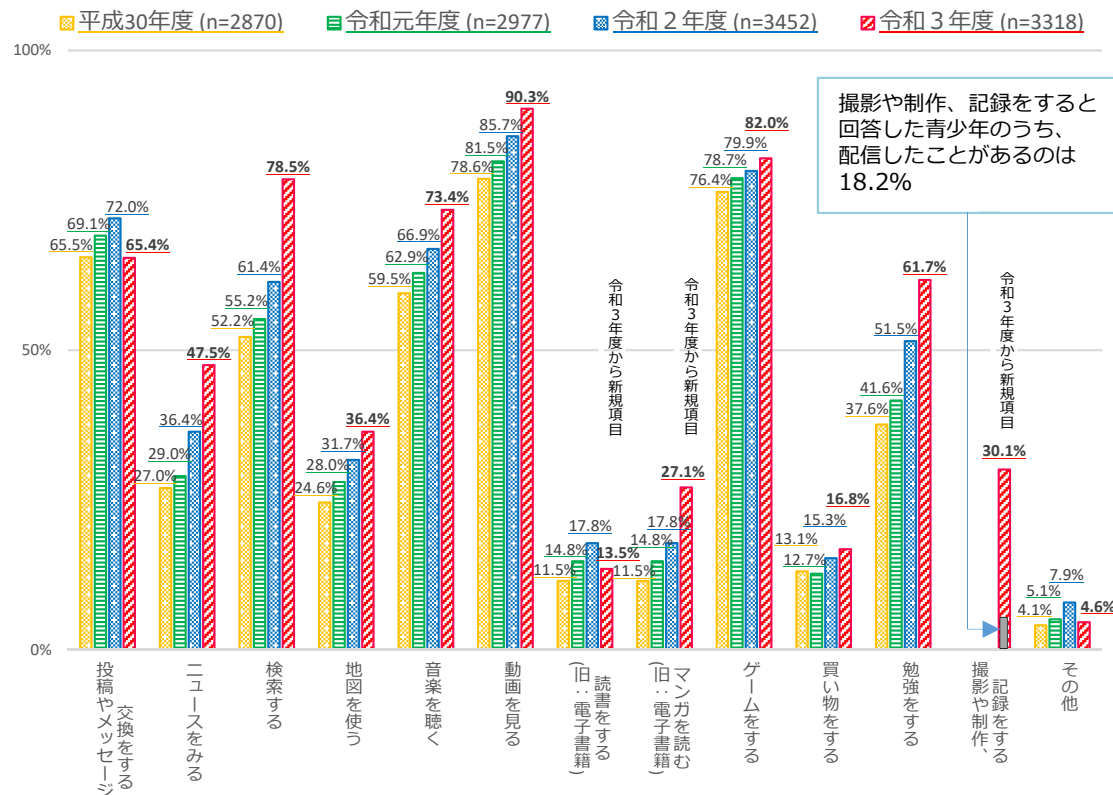
ポイント7 青少年のインターネットの利用状況 - 3 (利用内容)

- インターネットを利用すると回答した青少年の利用内容の内訳は、
 高校生では動画を見る(95.8%)、音楽を聴く (90.0%)、検索する(87.7%)が上位。勉強をするは64.4%。
 中学生では動画を見る(91.3%)、検索する(82.3%)、ゲームをする(81.1%)が上位。勉強をするは64.5%。
 小学生 (10歳以上) ではゲームをする(84.5%)、動画を見る(84.2%)が上位。勉強をするは55.8%。
- 学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等 (GIGA端末) は、勉強をする (86.2%)、検索する (61.0%) が上位。

○青少年のインターネットの利用内容 (いずれかの機器、スマートフォン、GIGA端末/令和3年度)

		投稿やメッセージ交換をする	ニュースをみる	検索する	地図を使う	音楽を聴く	動画を見る	読書をする	マンガを読む	ゲームをする	買い物をする	勉強をする	撮影や制作、記録をする	その他
いずれかの機器	総数 (n=3318)	65.4%	47.5%	78.5%	36.4%	73.4%	90.3%	13.5%	27.1%	82.0%	16.8%	61.7%	30.1%	4.6%
	小学生 (10歳以上) (n=1057)	38.2%	28.6%	65.8%	14.5%	50.8%	84.2%	5.7%	9.0%	84.5%	3.3%	55.8%	19.5%	5.7%
	中学生 (n=1294)	72.2%	52.2%	82.3%	36.2%	79.4%	91.3%	14.2%	27.1%	81.1%	12.8%	64.5%	30.4%	4.3%
	高校生 (n= 959)	86.1%	61.8%	87.7%	60.8%	90.0%	95.8%	21.1%	46.9%	80.7%	36.8%	64.4%	41.4%	3.6%
スマートフォン	総数 (n=2335)	76.0%	42.1%	79.6%	44.1%	78.0%	88.1%	14.7%	32.5%	70.2%	20.1%	42.4%	32.7%	0.3%
	小学生 (10歳以上) (n= 425)	46.4%	15.5%	59.8%	16.2%	47.3%	76.9%	3.5%	9.9%	61.2%	2.4%	17.2%	20.2%	1.2%
	中学生 (n= 957)	79.4%	43.1%	82.2%	40.0%	80.8%	88.0%	13.8%	29.2%	70.2%	13.0%	44.1%	31.1%	0.1%
	高校生 (n= 945)	85.9%	53.1%	86.0%	60.6%	88.9%	93.2%	20.6%	46.0%	74.2%	35.0%	52.0%	39.7%	0.1%
GIGA端末	総数 (n=1431)	7.4%	7.3%	61.0%	10.1%	4.3%	15.1%	2.4%	0.6%	3.8%	0.5%	86.2%	11.4%	1.3%

青少年のインターネット利用内容の経年比較 (いずれかの機器/平成30年度から令和3年度)



(注1) 「いずれかの機器」とは、青少年に対して調査した7機器のうち、いずれかの機器でインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

(注2) 「スマートフォン」とは、スマートフォンでインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

(注3) 令和3年度から「読書をする」、「マンガを読む」と「撮影や制作、記録をする」を新規追加。令和2年度までは、「投稿やメッセージ交換をする」は「コミュニケーション」、「ニュースをみる」は「ニュース」、「検索する」は「情報検索」、「地図を使う」は「地図・ナビゲーション」、「音楽を聴く」は「音楽視聴」、「動画を見る」は「動画視聴」、「読書をする」と「マンガを読む」は「電子書籍」、「ゲームをする」は「ゲーム」、「買い物をする」は「ショッピング・オークション」、「勉強をする」は「勉強・学習・知育アプリやサービス」としていた。(青少年 Q3)

ポイント8 低年齢層の子供のインターネットの利用状況 -3 (利用内容)

- インターネットを利用している低年齢層の子供の利用内容の内訳は、動画を見る(94.0%)、ゲームをする(59.0%)が上位。

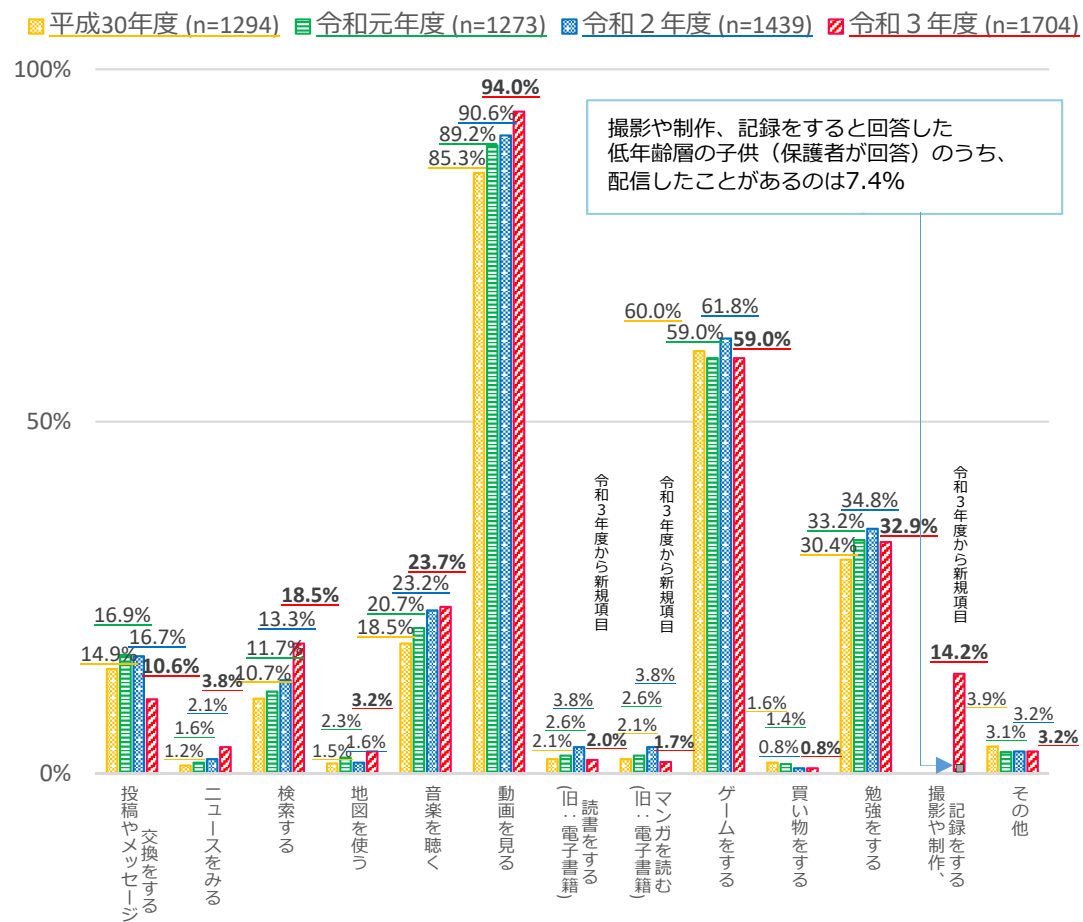
低年齢層の子供のインターネットの利用内容(いずれかの機器/令和3年度)

	投稿やメッセージ交換をする	ニュースをみる	検索する	地図を使う	音楽を聴く	動画を見る	読書をする	マンガを読む	ゲームをする	買い物をする	勉強をする	撮影や制作、記録をする	その他
総数 (n=1704)	10.6%	3.8%	18.5%	3.2%	23.7%	94.0%	2.0%	1.7%	59.0%	0.8%	32.9%	14.2%	3.2%
通園・通学前 (0歳～6歳) (n= 111)	-	-	0.9%	-	27.9%	100.0%	0.9%	0.9%	17.1%	-	4.5%	1.8%	-
通園中 (0歳～6歳) (n= 713)	1.4%	1.3%	2.8%	0.7%	17.7%	97.8%	1.1%	-	42.4%	0.6%	13.6%	6.9%	1.3%
小学生 (6歳～9歳) (n= 879)	19.3%	6.3%	33.4%	5.6%	28.0%	90.1%	2.8%	3.2%	77.7%	1.1%	52.2%	21.7%	5.2%

(注1) 「低年齢層の子供のインターネットの利用内容」は、低年齢層の子供の保護者に対して調査した7機器のうち、いずれかの機器で子供がインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

(注2) 令和3年度から「読書をする」、「マンガを読む」と「撮影や制作、記録をする」を新規追加。令和2年度までは、「投稿やメッセージ交換をする」は「コミュニケーション」、「ニュースをみる」は「ニュース」、「検索する」は「情報検索」、「地図を使う」は「地図・ナビゲーション」、「音楽を聴く」は「音楽視聴」、「動画を見る」は「動画視聴」、「読書をする」と「マンガを読む」は「電子書籍」、「ゲームをする」は「ゲーム」、「買い物をする」は「ショッピング・オークション」、「勉強をする」は「勉強・学習・知育アプリやサービス」としていた。

低年齢層の子供のインターネット利用内容の経年比較 (いずれかの機器/平成30年度から令和3年度)



ポイント9 年齢別のインターネットの利用状況 - 3 (利用内容)

○ 利用内容の割合は、動画を見るが、全年齢を通じて高い。

インターネット利用内容 (年齢別・いずれかの機器/令和3年度)

	投稿やメッセージ 交換をする	ニュースをみる	検索する	地図を使う	音楽を聴く	動画を見る	読書をする	マンガを読む	ゲームをする	買い物をする	勉強をする	撮影や制作 記録をする	その他
1歳 (n= 55)	-	-	-	-	27.3%	100.0%	-	-	1.8%	-	3.6%	1.8%	-
2歳 (n=122)	0.8%	0.8%	1.6%	-	19.7%	97.5%	2.5%	0.8%	17.2%	-	4.9%	0.8%	0.8%
3歳 (n=139)	-	1.4%	2.2%	1.4%	18.7%	98.6%	0.7%	-	28.8%	-	3.6%	4.3%	-
4歳 (n=171)	0.6%	1.2%	0.6%	1.2%	17.5%	98.2%	-	-	42.7%	0.6%	12.9%	7.0%	2.3%
5歳 (n=200)	2.5%	1.5%	1.5%	-	16.5%	96.5%	2.0%	-	51.0%	1.0%	20.0%	9.5%	1.5%
6歳 (n=209)	7.2%	1.4%	13.4%	1.4%	24.9%	95.2%	0.5%	1.0%	65.1%	1.0%	29.2%	13.4%	1.9%
7歳 (n=251)	15.5%	4.0%	24.3%	3.2%	21.9%	89.6%	3.2%	1.2%	74.5%	0.8%	53.0%	19.9%	3.2%
8歳 (n=283)	16.3%	4.6%	31.1%	6.4%	27.2%	91.2%	2.5%	3.2%	82.3%	1.4%	54.1%	22.3%	5.7%
9歳 (n=263)	27.8%	11.4%	49.0%	8.0%	32.7%	89.7%	3.8%	5.3%	80.6%	1.1%	52.9%	23.6%	7.2%
10歳 (n=341)	31.7%	23.2%	58.9%	10.9%	41.3%	80.1%	5.9%	5.3%	83.6%	3.2%	50.7%	16.4%	6.7%
11歳 (n=418)	36.8%	28.5%	65.3%	14.6%	53.1%	84.4%	5.5%	9.8%	84.4%	2.6%	59.3%	18.4%	5.0%
12歳 (n=455)	55.8%	37.1%	75.6%	22.6%	63.3%	88.1%	7.9%	15.2%	84.4%	4.6%	56.9%	25.5%	5.3%
13歳 (n=406)	67.7%	46.8%	77.1%	30.0%	77.1%	90.1%	9.4%	21.4%	83.0%	6.4%	62.3%	28.3%	4.7%
14歳 (n=460)	72.8%	53.7%	84.8%	37.4%	79.1%	90.9%	17.6%	30.4%	78.5%	14.8%	64.1%	31.3%	4.1%
15歳 (n=426)	80.5%	60.3%	87.6%	49.5%	87.6%	95.3%	17.8%	36.2%	81.5%	25.1%	70.0%	34.7%	3.5%
16歳 (n=411)	86.1%	61.1%	87.8%	63.7%	90.3%	96.8%	20.2%	47.4%	83.2%	35.3%	64.2%	40.6%	4.4%
17歳 (n=401)	86.3%	65.6%	87.5%	60.1%	90.3%	95.3%	22.7%	48.6%	78.1%	42.4%	63.8%	44.1%	3.0%

(注1) 「いずれかの機器」とは、青少年及び低年齢層の子供の保護者に対して調査した7機器のうち、いずれかの機器でインターネットを利用していると回答した青少年及び低年齢層の子供の保護者をベースに集計。0歳 (n=11) は、回答数が少ないため図示しない。

(注2) 青少年は本人に、低年齢層の子供は保護者に対して調査した結果であるため、直接比較することはできない。

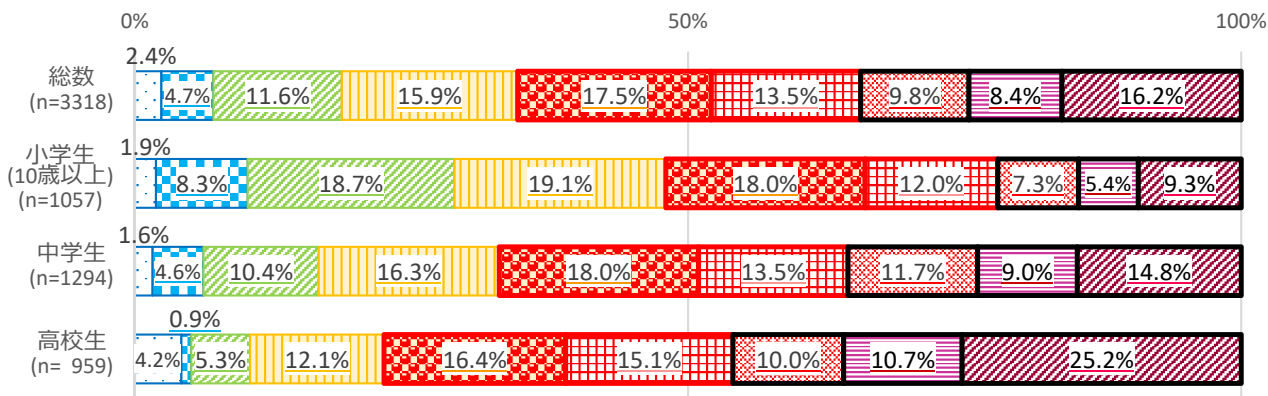
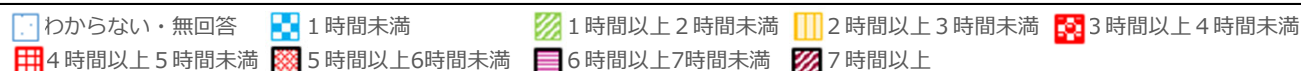
(注3) 令和3年度から「読書をする」、「マンガを読む」と「撮影や制作、記録をする」を新規追加。令和2年度までは、「投稿やメッセージ交換をする」は「コミュニケーション」、「ニュースをみる」は「ニュース」、「検索する」は「情報検索」、「地図を使う」は「地図・ナビゲーション」、「音楽を聴く」は「音楽視聴」、「動画を見る」は「動画視聴」、「読書する」と「マンガを読む」は「電子書籍」、「ゲームをする」は「ゲーム」、「買い物をする」は「ショッピング・オークション」、「勉強をする」は「勉強・学習・知育アプリやサービス」としていた。

(青少年 Q3、低年齢層の子供の保護者 Q3)

ポイント10 青少年のインターネットの利用状況 - 4 (利用時間)

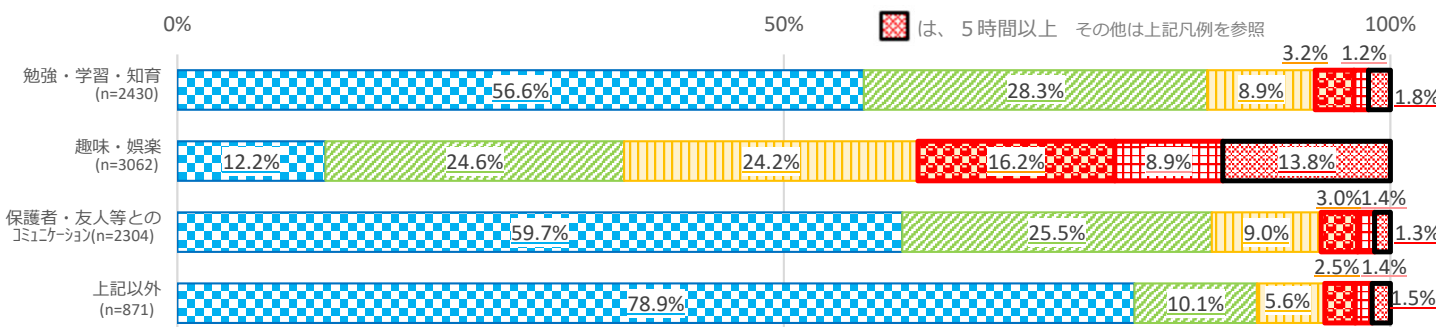
- インターネットを利用すると回答した青少年の平均利用時間は、前年度と比べ約1時間増加し、約4時間24分。どの学校種も前年度と比べ約1時間増加し、高校生は、約5時間31分。中学生は、約4時間19分。小学生(10歳以上)は、約3時間27分。
- 目的ごとの平均利用時間は趣味・娯楽が最も多く、前年度と比べ38分増加し、約2時間45分。
- 勉強・学習・知育は前年度と比べ約23分増加し、約1時間1分。

青少年のインターネットの利用時間 (利用機器の合計/平日1日あたり)



	令和3年度			令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	平均利用時間	3時間以上の割合	5時間以上の割合	平均利用時間	3時間以上の割合	平均利用時間	3時間以上の割合	平均利用時間	3時間以上の割合
総数	263.5分	65.3%	34.3%	205.4分	52.1%	182.3分	46.6%	168.5分	40.2%
小学生 (10歳以上)	207.0分	51.9%	21.9%	146.4分	33.6%	129.1分	29.3%	118.2分	21.0%
中学生	259.4分	67.1%	35.5%	199.7分	52.0%	176.1分	45.8%	163.9分	37.1%
高校生	330.7分	77.5%	46.0%	267.4分	69.5%	247.8分	66.3%	217.2分	61.7%

目的ごとの青少年のインターネットの利用時間 (利用機器の合計/平日1日あたり)



	平均利用時間			
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
勉強・学習・知育	60.8分	37.5分	33.3分	35.7分
趣味・娯楽	164.7分	126.7分	119.5分	105.6分
保護者・友人等とのコミュニケーション	55.7分	44.7分	43.9分	52.4分
上記以外	33.7分	18.1分	16.5分	22.4分

(注1) 平均利用時間は、「使っていない」は0分とし、「わからない」「無回答」を除いて平均値を算出。(注2) 「利用機器の合計」の利用時間は、回答者が利用している各機器の利用時間を合算したものの。

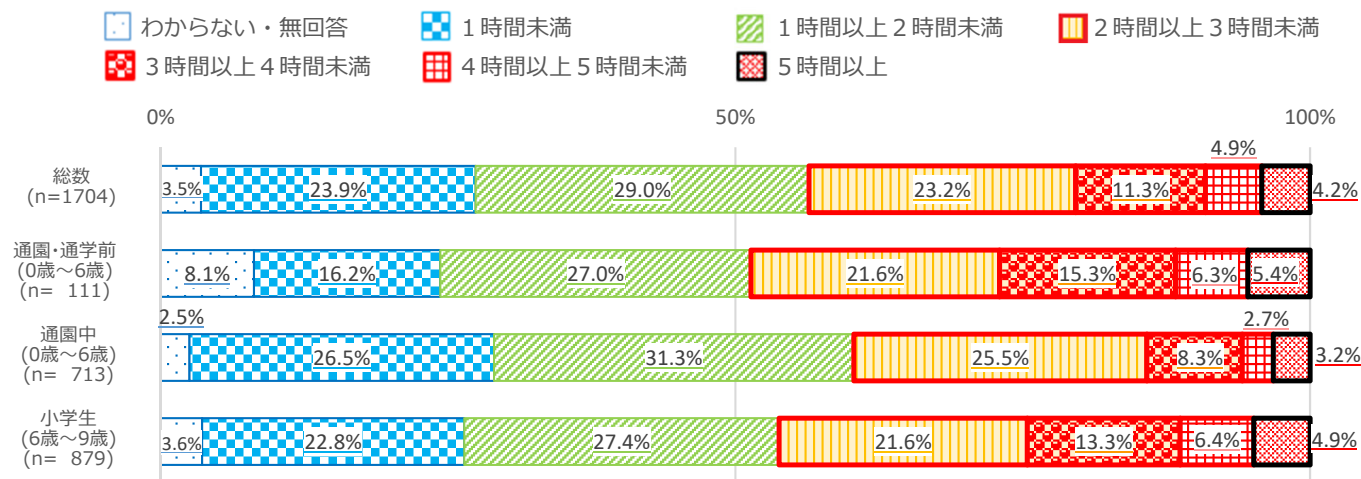
(注3) 平均利用時間・3時間以上と5時間以上の割合については、青少年に対して調査した7機器のうち、いずれかの機器でインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

回答数は、令和2年度 総数(n=3452) 小学生(n=995) 中学生(n=1371) 高校生(n=1071)、令和元年度 総数(n=2977) 小学生(n=933) 中学生(n=1180) 高校生(n=860)、平成30年度 総数(n=2870) 小学生(n=847) 中学生(n=1118) 高校生(n=894)。

ポイント11 低年齢層の子供のインターネットの利用状況 - 4 (利用時間)

- インターネットを利用している低年齢層の子供の平均利用時間は、前年度と比べ約7分増加し、約1時間50分。
- 目的ごとの平均利用時間は趣味・娯楽が最も多く、前年度と比べ約10分増加し、約1時間35分。

低年齢層の子供のインターネットの利用時間 (利用機器の合計/平日1日あたり)



	令和3年度	令和2年度	令和元年度
平均利用時間	110.2分	102.9分	84.9分
2時間以上の割合	43.7%	48.6%	39.7%
平均利用時間	126.3分	90.6分	94.8分
平均利用時間	98.0分	91.4分	72.1分
平均利用時間	118.2分	112.8分	94.2分

目的ごとの低年齢層の子供のインターネットの利用時間 (利用機器の合計/平日1日あたり)

	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上5時間未満	5時間以上	平均利用時間		
							令和3年度	令和2年度	令和元年度
勉強・学習・知育 (n= 663)	80.8%	15.1%	2.4%	1.2%	0.2%	0.3%	31.5分	21.2分	25.0分
趣味・娯楽 (n=1463)	27.7%	34.8%	21.9%	9.4%	3.4%	2.8%	95.2分	85.4分	73.6分
保護者・友人等とのコミュニケーション (n= 343)	84.8%	10.5%	2.6%	1.5%	0.6%	-	18.4分	11.2分	12.0分
上記以外 (n= 231)	90.9%	8.2%	-	0.9%	-	-	8.7分	9.7分	16.7分

(注1) 平均利用時間は、「使っていない」は0分とし、「わからない」「無回答」を除いて平均値を算出。

(注2) 「利用機器の合計」の利用時間は、回答者の子供が利用している各機器の利用時間を合算したものの。

(注3) 平均利用時間・2時間以上の割合については、低年齢層の子供の保護者に対して調査した7機器のうち、いずれかの機器でインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

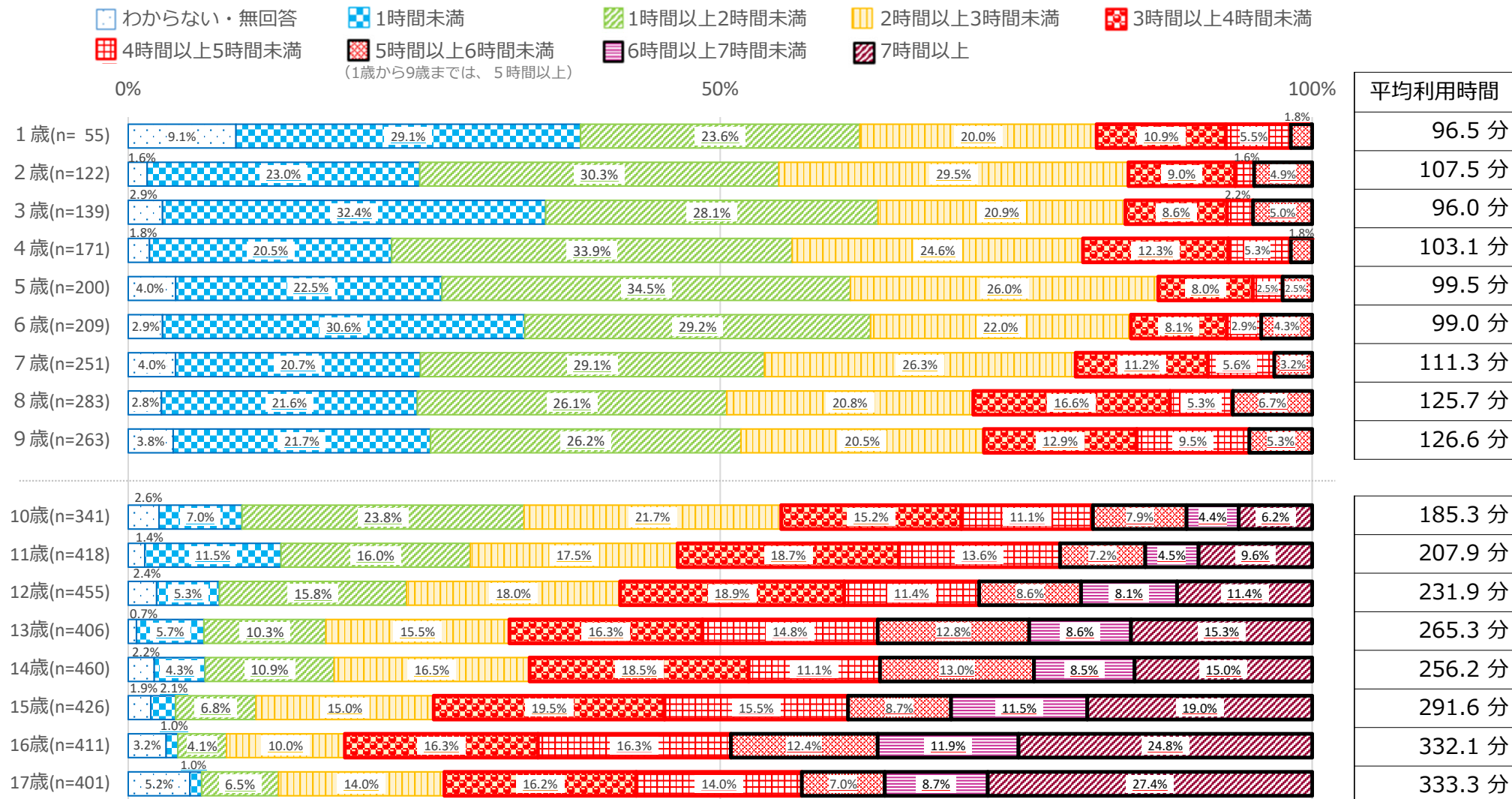
(注4) 「令和2年度」の回答数は、総数(n=1439) 通園・通学前(0歳～6歳)(n=85) 通園中(0歳～6歳)(n=584) 小学生(6歳～9歳)(n=770)

「令和元年度」の回答数は、総数(n=1273) 通園・通学前(0歳～6歳)(n=79) 通園中(0歳～6歳)(n=534) 小学生(6歳～9歳)(n=660) (低年齢層の子供の保護者 Q4-1、Q4-2)

ポイント12 年齢別のインターネットの利用状況 - 4 (利用時間)

○ インターネットの平均利用時間は、年齢とともに増加傾向にある。

インターネットの利用時間 (年齢別・利用機器の合計/平日1日あたり)



(注1) 平均利用時間は、「使っていない」は0分とし、「わからない」「無回答」を除いて平均値を算出。

(注2) 「利用機器の合計」の利用時間は、青少年及び低年齢の子供の保護者が回答した各機器の利用時間を合算したものの、0歳(n=11)は、回答数が少ないため図示しない。

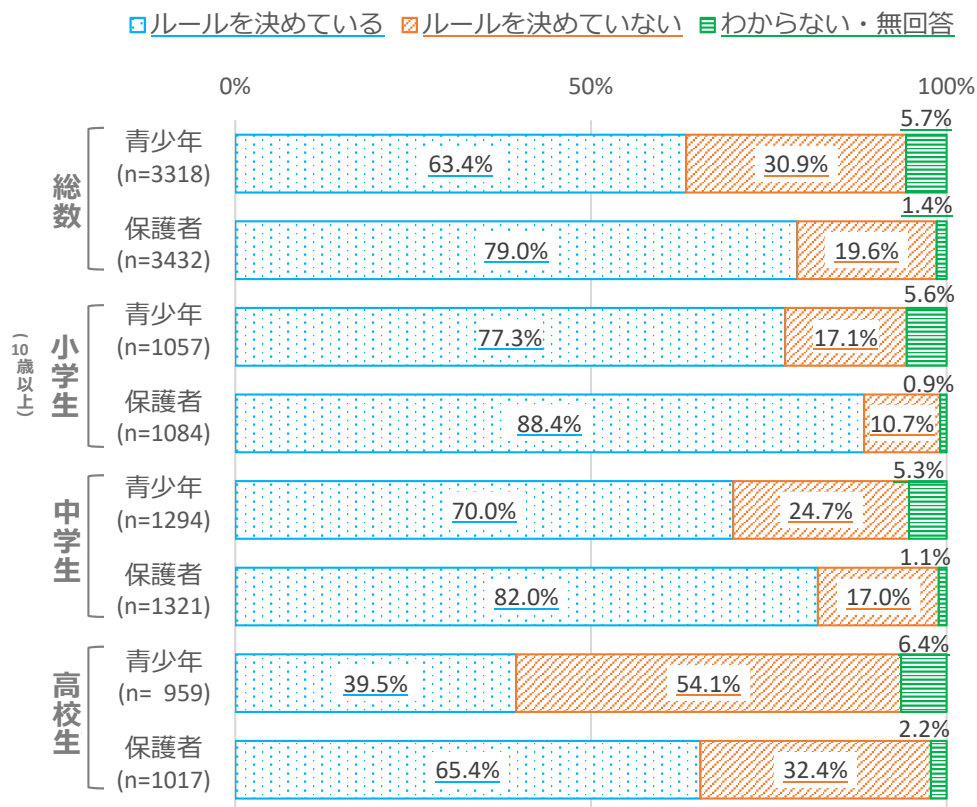
(注3) 青少年は本人に、低年齢層の子供は保護者に対して調査した結果であるため、直接比較することはできない。

(青少年 Q4-1、低年齢層の子供の保護者 Q4-1)

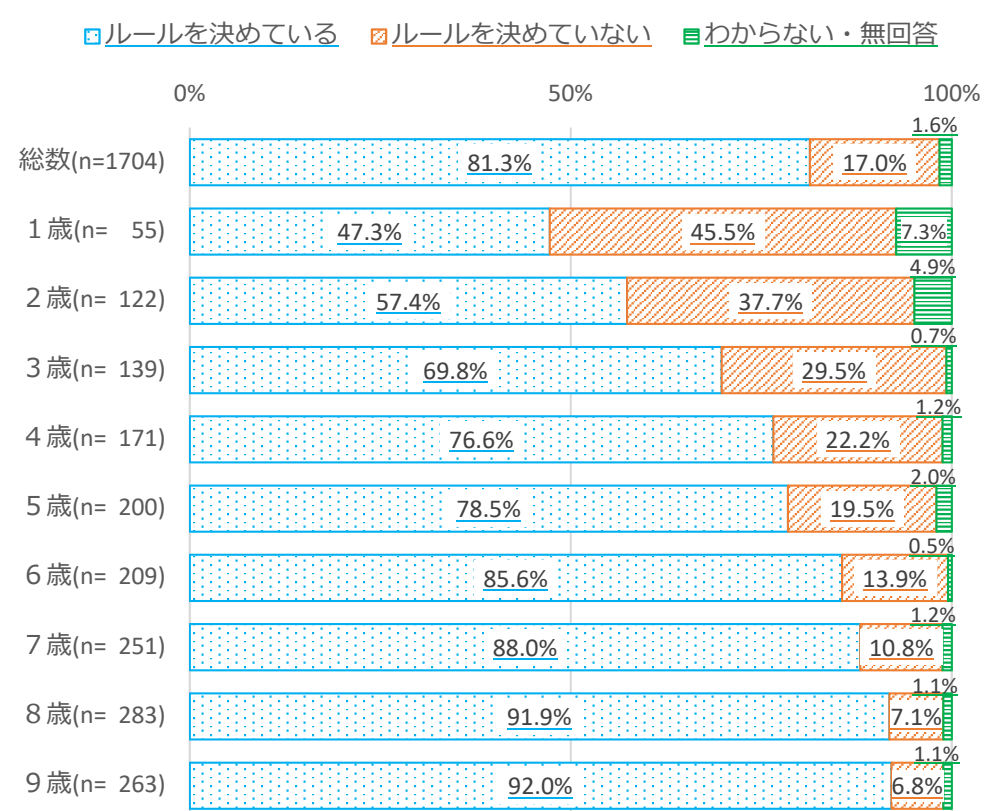
ポイント13 インターネット利用に関する家庭のルールの有無

- 低年齢層の子供の保護者のうち、「ルールを決めている」との回答は81.3%で、子供の年齢が上がるとともに割合は増加傾向。
- 他方で、学校種が上がるにつれて「ルールを決めていない」との回答が増え、青少年と青少年の保護者の「ルールの有無に関する認識のギャップ」も拡大傾向。

青少年とその保護者のルールの有無に関する認識の比較（学校種別）



低年齢層の子供の保護者のルールの有無（年齢別）



(注1) インターネットを利用していると回答した青少年及び子供がインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

(注2) 低年齢層の子供の保護者の家庭でのルールについて、0歳 (n=11) は、回答数が少ないため図示しない。

(青少年 Q6-1、青少年の保護者 Q3-1、低年齢層の子供の保護者 Q6-1)

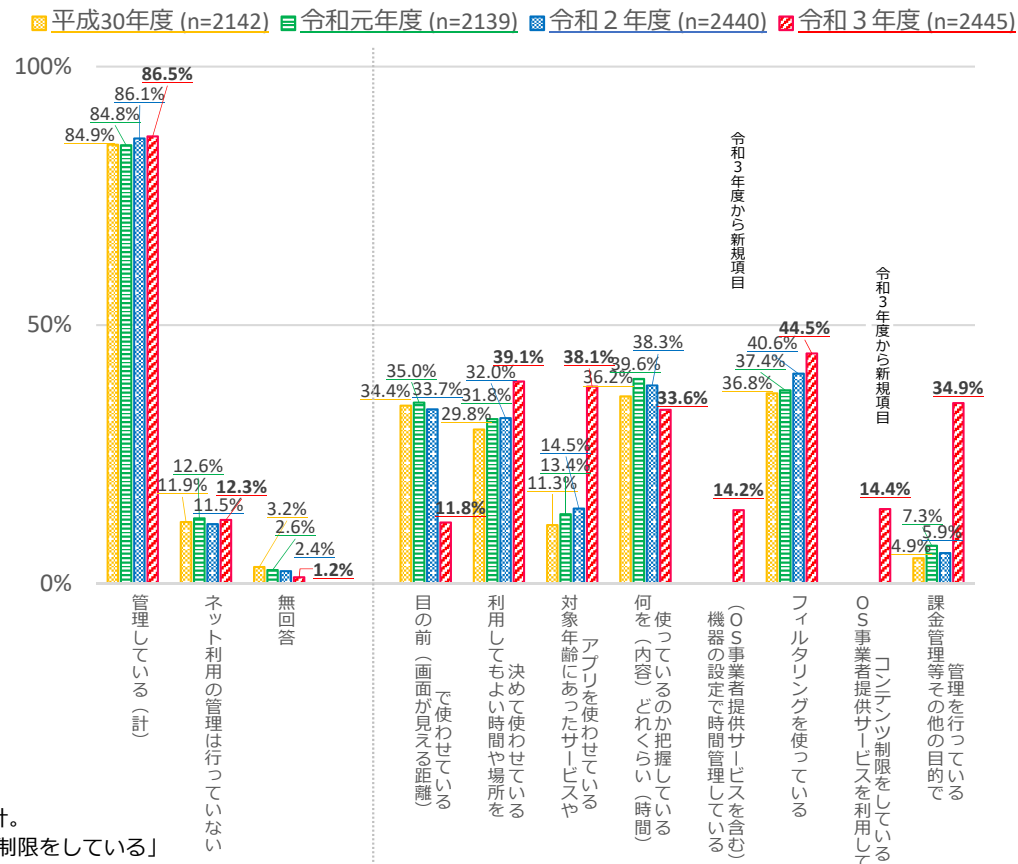
ポイント14 子供のインターネット利用に関する保護者の取組 - 1 (青少年の保護者)

- 子供がスマートフォンを利用する青少年の保護者の86.5%がいずれかの方法で子供のネット利用を管理していると回答。
- 実施している取組は、フィルタリング(44.5%)、利用してもよい時間や場所を決めて使わせている(39.1%)、対象年齢にあったサービスやアプリを使わせている(38.1%)が上位。

青少年の保護者の取組 (スマートフォン/令和3年度)

	管理している (計)	ネット利用の管理は行っていない	無回答	目の前 (画面が見える距離) で使わせている	利用してもよい時間や場所を決めて使わせている	対象年齢にあったサービスやアプリを使わせている	何を (内容) どれくらい (時間) 使っているのか把握している	機器の設定で時間管理している	フィルタリングを使っている	OS事業者提供サービスを利用してコンテンツ制限をしている	課金管理等その他の目的で管理を行っている
総数 (n= 2445)	86.5%	12.3%	1.2%	11.8%	39.1%	38.1%	33.6%	14.2%	44.5%	14.4%	34.9%
小学生・保護者 (10歳以上) (n= 435)	94.3%	3.9%	1.8%	28.0%	61.1%	46.7%	52.6%	19.1%	47.1%	20.2%	33.8%
中学生・保護者 (n= 1001)	91.7%	7.0%	1.3%	12.0%	48.7%	45.8%	39.2%	19.8%	52.1%	18.1%	37.4%
高校生・保護者 (n= 1000)	78.1%	21.0%	0.9%	4.6%	20.3%	26.7%	19.8%	6.6%	35.6%	8.3%	33.0%

青少年の保護者の取組の経年比較 (スマートフォン/平成30年度から令和3年度)



(注1) 子供が「スマートフォン」でインターネットを利用していると回答した青少年の保護者をベースに集計。

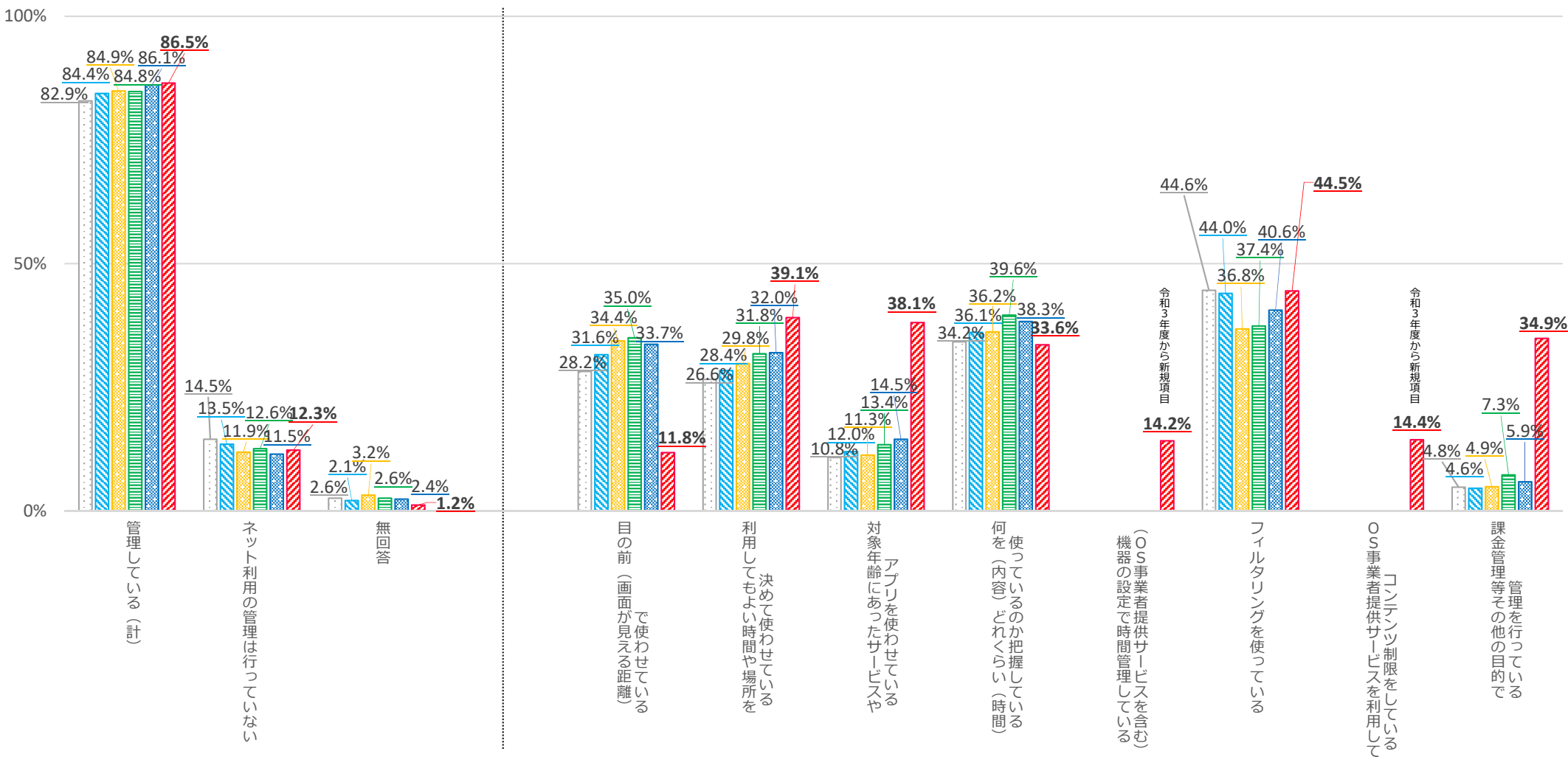
(注2) 令和3年度から「機器の設定で時間管理している」と「OS事業者提供サービスを利用してコンテンツ制限をしている」を新規追加。令和2年度までは、「目の前 (画面が見える距離) で使わせている」は「大人の目の届く範囲で使わせている」、「利用してもよい時間や場所を決めて使わせている」は「利用する際に時間や場所を指定している」、「対象年齢にあったサービスやアプリを使わせている」は「成長段階に合わせて、子供向けの機器やサービスを使わせている」、「何を (内容) どれくらい (時間) 使っているのか把握している」は「普段の会話やコミュニケーションの中で、子供のインターネット利用状況を把握している」、「課金管理等その他の目的で管理を行っている」は「その他の方法で管理を行っている」としていた。

(注3) 「無回答」は、令和2年度までは「わからない・無回答」としていた。

参考資料 2 子供のインターネット利用に関する保護者の取組の経年比較（青少年の保護者）

スマートフォンにおける青少年の保護者のインターネット利用に関する取組の経年比較（平成28年度から令和3年度）

□ 平成28年度 (n=1723) ■ 平成29年度 (n=1768) ■ 平成30年度 (n=2142) ■ 令和元年度 (n=2139) ■ 令和2年度 (n=2440) ■ 令和3年度 (n=2445)



（注1）子供が「スマートフォン」でインターネットを利用していると回答した青少年の保護者をベースに集計。

（注2）令和3年度から「機器の設定で時間管理している」と「OS事業者提供サービスを利用してコンテンツ制限をしている」を新規追加。令和2年度までは、「目の前（画面が見える距離）で使わせている」は「大人の目の届く範囲で使わせている」、「利用してもよい時間や場所を決めて使わせている」は「利用する際に時間や場所を指定している」（平成29年度までは「利用時間等のルールを決めている」）、「対象年齢にあったサービスやアプリを使わせている」は「成長段階に合わせて、子供向けの機器やサービスを使わせている」、「何を（内容）どれくらい（時間）使っているのか把握している」は「普段の会話やコミュニケーションの中で、子供のインターネット利用状況を把握している」、「課金管理等その他の目的で管理を行っている」は「その他の方法で管理を行っている」としていた。

（注3）「無回答」は、令和2年度までは「わからない・無回答」としていた。

ポイント15 子供のインターネット利用に関する保護者の取組 - 2 (低年齢層の子供の保護者)

- 子供がスマートフォンを利用する低年齢層の子供の保護者の97.3%がいずれかの方法で子供のネット利用を管理していると回答。
- 手法としては、目の前（画面が見える距離）で使わせている（65.9%）や利用してもよい時間や場所を決めて使わせている（63.7%）が多い。

低年齢層の子供の保護者の取組（スマートフォン/令和3年度）

	管理している（計）	ネット利用の管理は行っていない	無回答	目の前（画面が見える距離） で使わせている	利用してもよい時間や場所を 決めて使わせている	対象年齢にあったサービスや アプリを使わせている	何を（内容）どれくらい（時間） 使っているのか把握している	機器の設定で時間管理している （OS事業者提供サービスを含む）	フィルタリングを使っている	OS事業者提供サービスを利用して コンテンツ制限をしている	課金管理等その他の目的で 管理を行っている
総数(n=586)	97.3%	2.4%	0.3%	65.9%	63.7%	48.5%	52.9%	6.1%	15.7%	5.3%	9.4%
2歳(n= 44)	90.9%	9.1%	-	75.0%	59.1%	50.0%	40.9%	4.5%	2.3%	2.3%	2.3%
3歳(n= 50)	98.0%	2.0%	-	82.0%	50.0%	50.0%	40.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
4歳(n= 77)	98.7%	1.3%	-	71.4%	63.6%	61.0%	67.5%	3.9%	15.6%	3.9%	3.9%
5歳(n= 81)	97.5%	2.5%	-	74.1%	64.2%	48.1%	54.3%	4.9%	7.4%	-	11.1%
6歳(n= 68)	100.0%	-	-	66.2%	69.1%	52.9%	57.4%	2.9%	4.4%	2.9%	7.4%
7歳(n= 79)	97.5%	1.3%	1.3%	58.2%	65.8%	40.5%	58.2%	8.9%	24.1%	8.9%	11.4%
8歳(n= 83)	97.6%	2.4%	-	57.8%	68.7%	41.0%	53.0%	9.6%	26.5%	9.6%	10.8%
9歳(n= 86)	95.3%	3.5%	1.2%	51.2%	61.6%	44.2%	45.3%	9.3%	31.4%	10.5%	19.8%

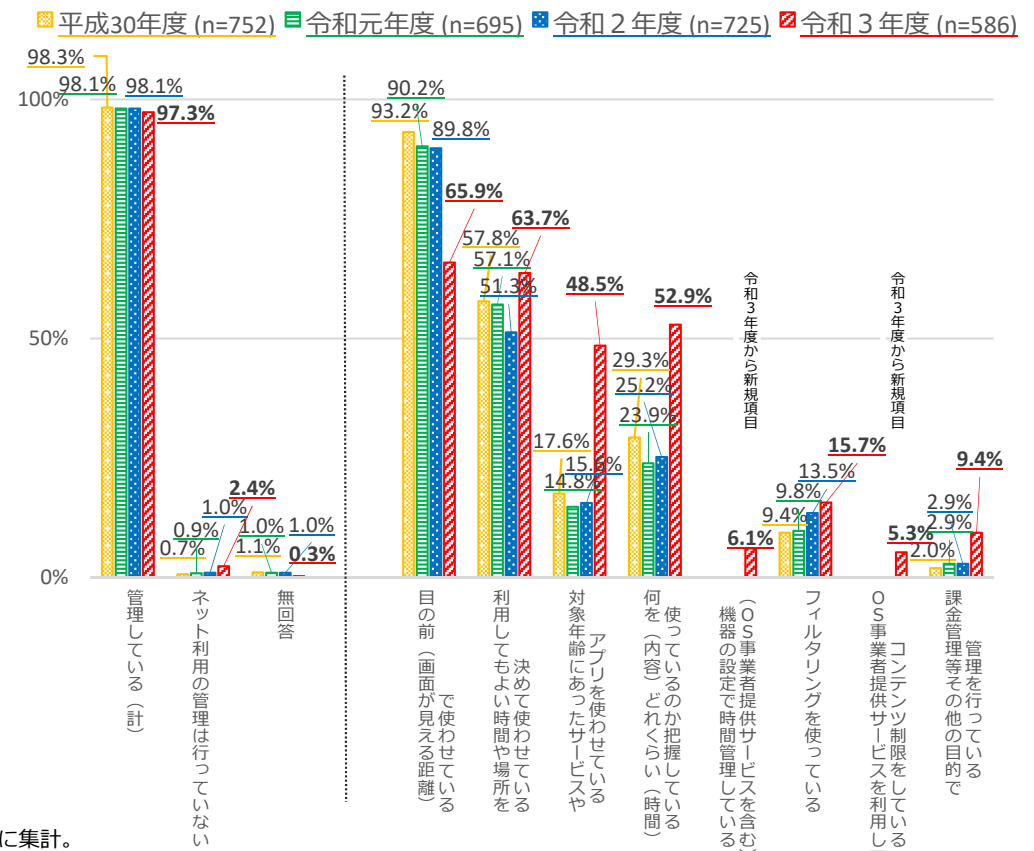
(注1) 子供が「スマートフォン」でインターネットを利用していると回答した低年齢層の子供の保護者をベースに集計。

0歳(n=2)及び1歳(n=16)は回答数が少ないため図示しない。

(注2) 令和3年度から「機器の設定で時間管理している」と「OS事業者提供サービスを利用してコンテンツ制限をしている」を新規追加。令和2年度までは、「目の前（画面の見える距離）で使わせている」は「大人の目の届く範囲で使わせている」、「利用してもよい時間や場所を決めて使わせている」は「利用する際に時間や場所を指定している」、「対象年齢にあったサービスやアプリを使わせている」は「成長段階に合わせて、子供向けの機器やサービスを使わせている」、「何を（内容）どれくらい（時間）使っているのか把握している」は「普段の会話やコミュニケーションの中で、子供のインターネット利用状況を把握している」、「課金管理等その他の目的で管理を行っている」は「その他の方法で管理を行っている」としていた。

(注3) 「無回答」は、令和2年度までは「わからない・無回答」としていた。

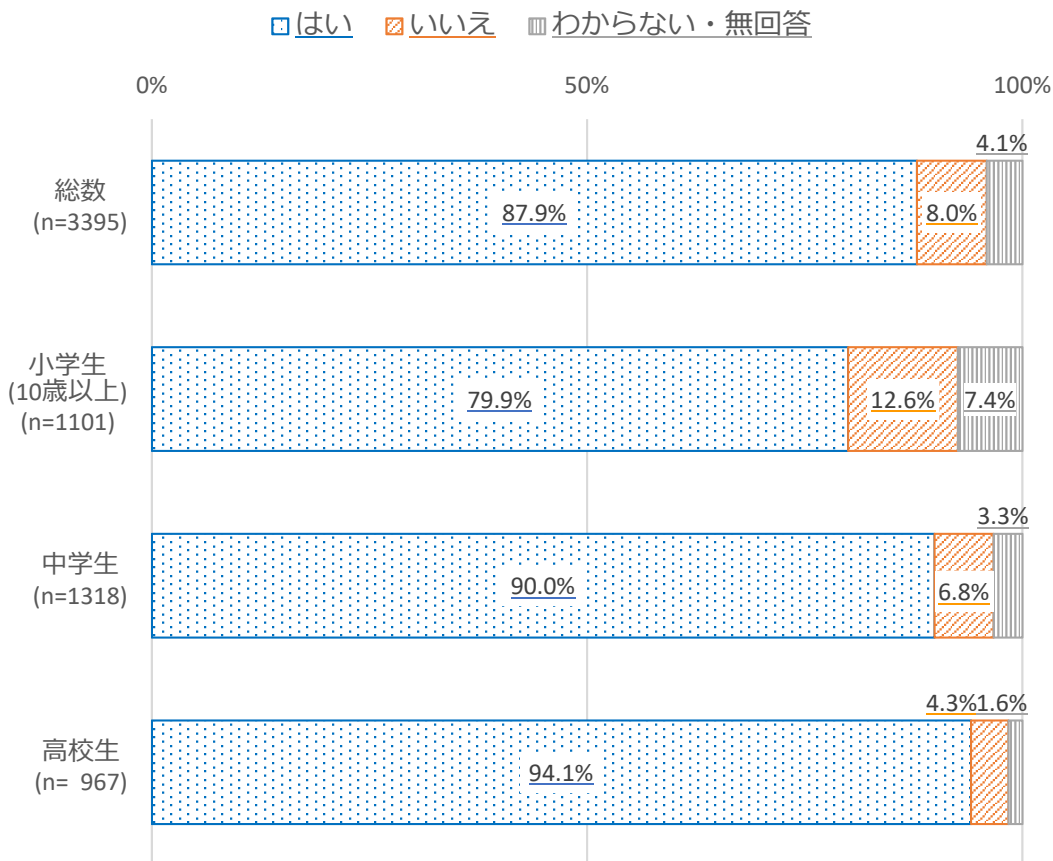
低年齢層の子供の保護者の取組の経年比較 (スマートフォン/平成30年度から令和3年度)



ポイント16 インターネットに関する啓発や学習の経験 - 1 (青少年)

- 青少年がインターネットに関する啓発や学習を受けた経験は87.9%。学校種が上がるほど割合が増加。
- 啓発や学習を受けた機会としては、学校・幼稚園・保育園等(97.5%)が最も多い。

青少年のインターネットに関する啓発や学習の経験
(学校種別/令和3年度)



(注) 「青少年のインターネットに関する啓発や学習の経験」は、回答した青少年全員をベースに集計。

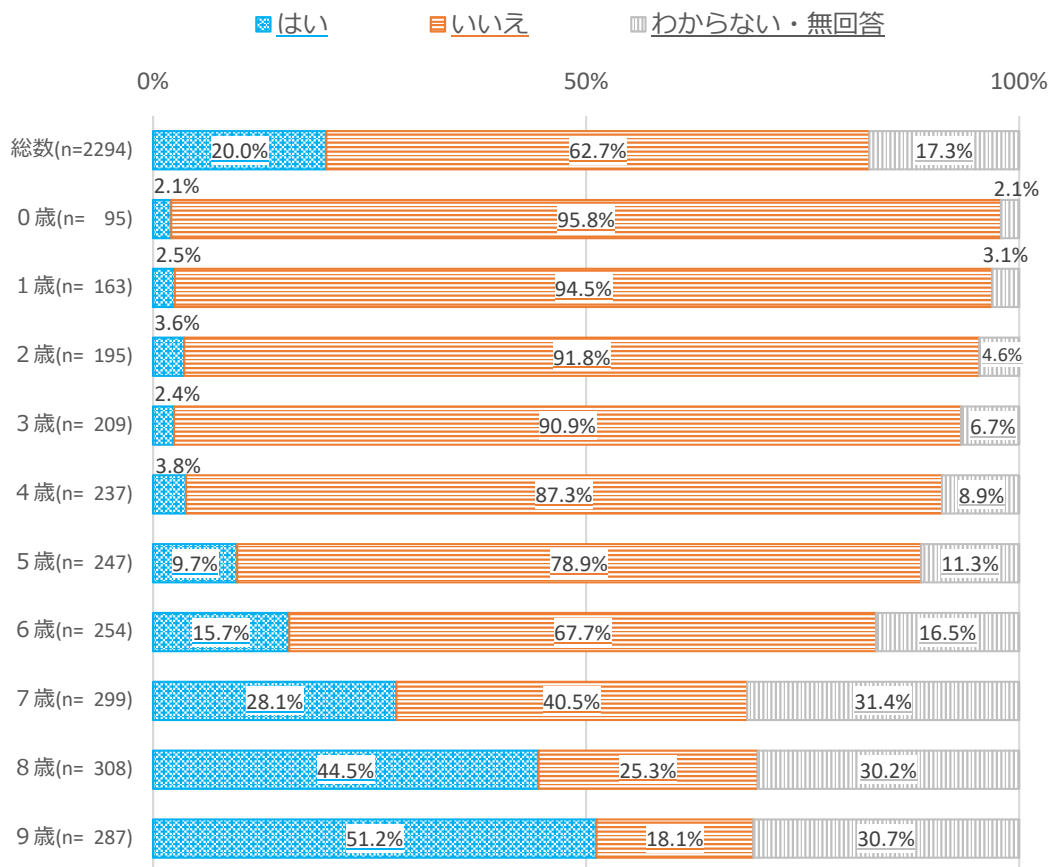
○啓発や学習を受けた機会

	学校・幼稚園・保育園等	親(保護者)	兄弟・姉妹	機器購入時の販売員	機器購入時の資料	友達	テレビや本・パンフレットなど	インターネット	その他
総数 (n=2984)	97.5%	35.3%	3.6%	4.0%	3.6%	8.2%	16.5%	15.8%	0.1%
小学生 (10歳以上) (n= 880)	95.7%	46.0%	4.7%	1.6%	2.0%	7.2%	16.9%	8.9%	0.3%
中学生 (n=1186)	98.1%	35.8%	3.2%	4.3%	3.6%	7.7%	16.8%	17.7%	0.1%
高校生 (n= 910)	98.5%	24.5%	3.0%	5.9%	4.9%	10.0%	15.5%	19.9%	-

ポイント17 インターネットに関する啓発や学習の経験 - 2 (低年齢層の子供)

- 低年齢層の子供がインターネットに関する啓発や学習を受けた経験は20.0%。年齢が上がるにつれて、増加傾向。
- 啓発や学習を受けた機会としては、学校・幼稚園・保育園等(74.3%)、親(保護者)(59.0%)が上位。

低年齢層の子供のインターネットに関する啓発や学習の経験 (年齢別/令和3年度)



(注1) 「低年齢層の子供のインターネットに関する啓発や学習の経験」は、回答した低年齢層の子供の保護者全員をベースに集計。

(注2) 「啓発や学習を受けた機会」について、0歳(n=2)、1歳(n=4)、2歳(n=7)、3歳(n=5)、4歳(n=9)、5歳(n=24)は回答数が少ないため図示しない。

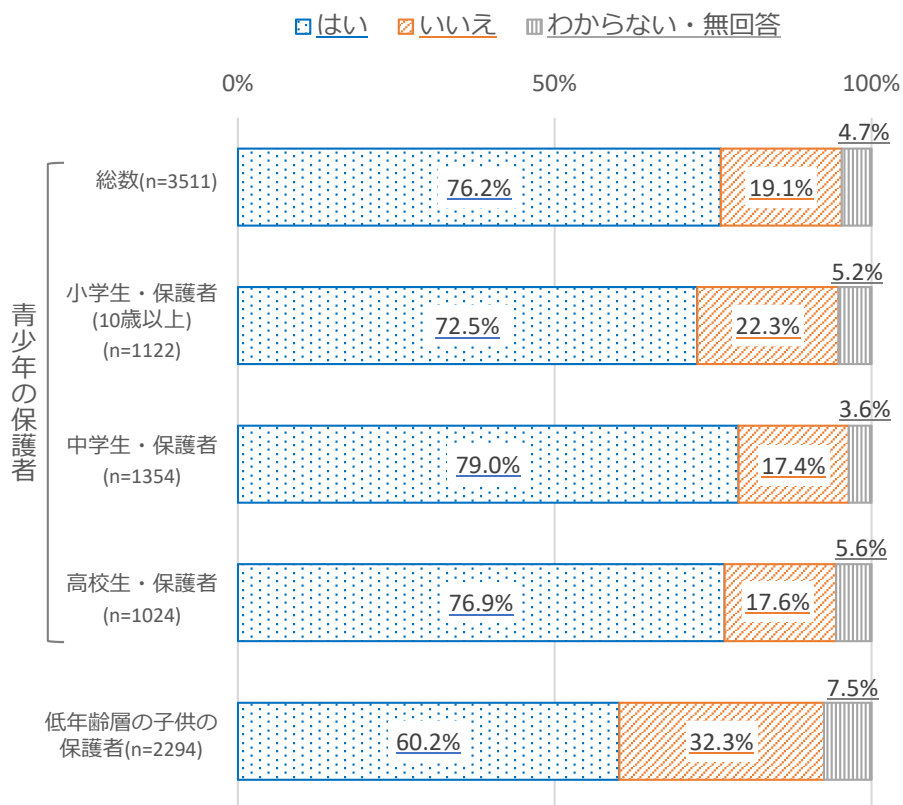
○啓発や学習を受けた機会

	学校・幼稚園・保育園等	親(保護者)	兄弟・姉妹	病院(産科・小児科等)	機器購入時の販売員	機器購入時の資料	友達	テレビや本・パンフレットなど	インターネット	その他
総数(n=459)	74.3%	59.0%	8.9%	0.9%	1.3%	3.5%	4.1%	22.4%	14.2%	0.9%
6歳(n=40)	72.5%	67.5%	2.5%	-	-	5.0%	5.0%	12.5%	12.5%	5.0%
7歳(n=84)	76.2%	63.1%	9.5%	-	1.2%	3.6%	2.4%	20.2%	15.5%	-
8歳(n=137)	75.2%	56.9%	8.8%	0.7%	3.6%	5.8%	3.6%	19.7%	13.9%	-
9歳(n=147)	85.7%	61.2%	10.2%	0.7%	-	1.4%	6.1%	26.5%	11.6%	-

ポイント18 インターネットに関する啓発や学習の経験 - 3 (保護者)

- 保護者がインターネットに関する啓発や学習を受けた経験は、青少年の保護者では76.2%、低年齢層の子供の保護者では60.2%。
- 啓発や学習を受けた機会としては、青少年の保護者は学校や保育園・幼稚園等の保護者会やPTAの会合など(60.1%)、学校や保育園・幼稚園等から配布された啓発資料など(58.2%)が多い。低年齢層の子供の保護者では、テレビや本・パンフレットなど(59.2%)が多い。

保護者のインターネットに関する啓発や学習の経験
(学校種別/令和3年度)



○啓発や学習を受けた機会

	学校や保育園・幼稚園等の保護者会やPTAの会合など	学校や保育園・幼稚園等から配布された啓発資料など	国・地方公共団体や民間団体が行う講座	病院(産科、小児科)	機器の購入時の販売員	機器の購入時の資料	友人	保護者同士の会話	テレビや本・パンフレットなど	インターネット	保護者自身が生徒・学生の時に学校等で説明を受けた	その他
全体 (n=2677)	60.1%	58.2%	3.7%	0.2%	12.5%	12.6%	9.8%	26.2%	42.8%	33.8%	9.5%	1.5%
青少年の保護者												
小学生・保護者 (10歳以上) (n=814)	48.9%	56.3%	3.3%	-	10.0%	11.3%	11.4%	28.7%	46.9%	40.0%	9.2%	1.5%
中学生・保護者 (n=1069)	63.5%	59.3%	4.3%	0.2%	13.3%	12.1%	10.7%	25.9%	42.4%	32.7%	9.6%	1.1%
高校生・保護者 (n=787)	67.2%	58.8%	3.4%	0.4%	14.2%	14.7%	6.9%	23.8%	39.4%	28.6%	9.5%	1.8%
低年齢層の子供の保護者 (n=1381)	26.9%	37.7%	3.5%	2.0%	4.6%	7.5%	13.3%	23.0%	59.2%	47.1%	17.8%	3.6%

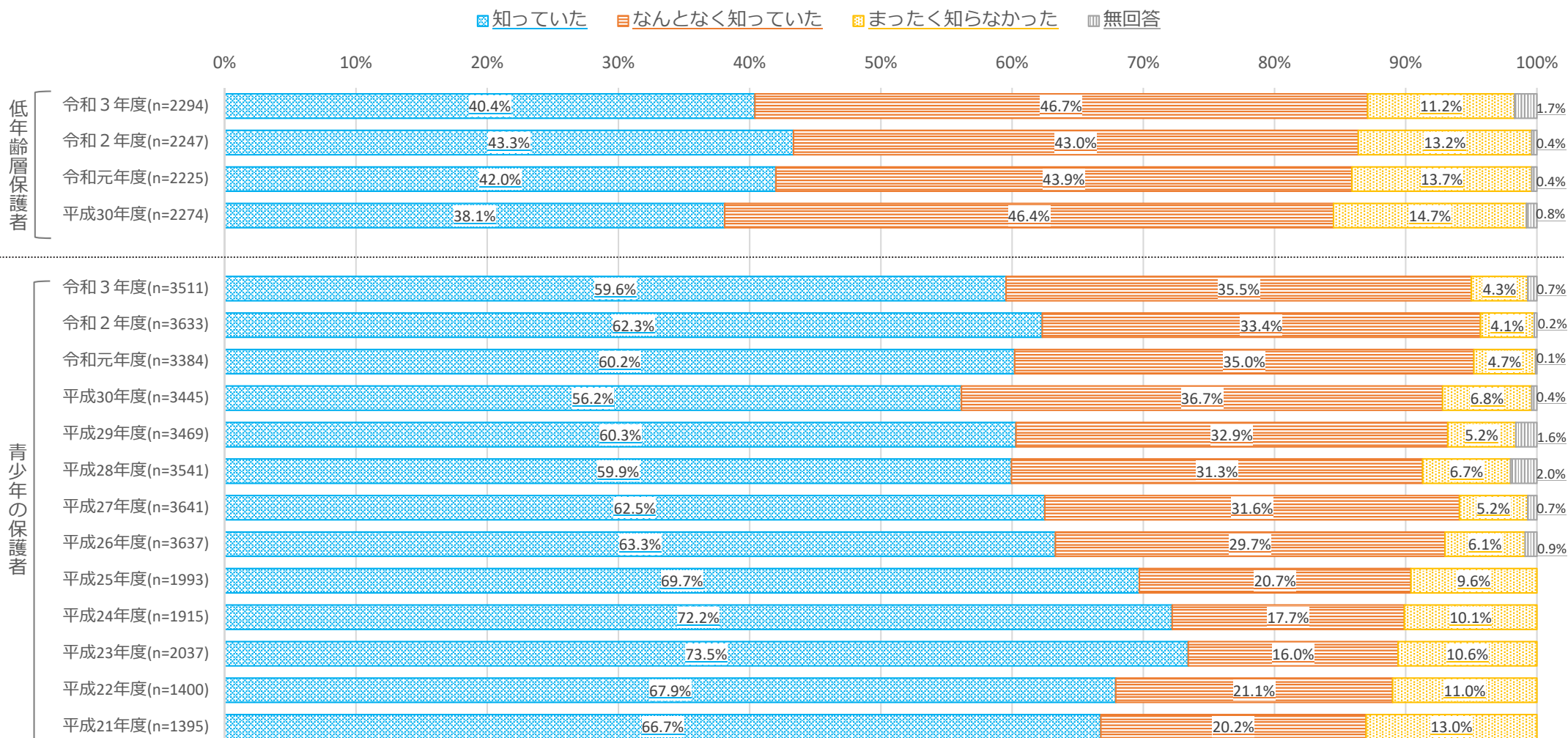
(注) 「保護者のインターネットに関する啓発や学習の経験」は、回答した青少年の保護者及び低年齢層の子供の保護者全員をベースに集計。

(青少年の保護者 Q10-1、10-2、低年齢層の子供の保護者 Q15-1、Q15-2)

ポイント19 フィルタリングの認知（保護者）

- 青少年の保護者のフィルタリング認知は「知っていた」（59.6%）と「なんとなく知っていた」（35.5%）を合わせると95.1%。
- 低年齢層の子供の保護者のフィルタリングの認知は、「知っていた」が40.4%。

フィルタリングの認知



(注1) 「フィルタリングの認知」は、回答した青少年の保護者及び低年齢層の子供の保護者全員をベースに集計。

(注2) 令和3年度調査から調査票のフィルタリングについての説明内容を大幅に追加した。

(青少年の保護者 Q14、低年齢層の子供の保護者 Q19)